設 計 書

工事名称 松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事

工事場所 松戸市小金原四丁目6番地

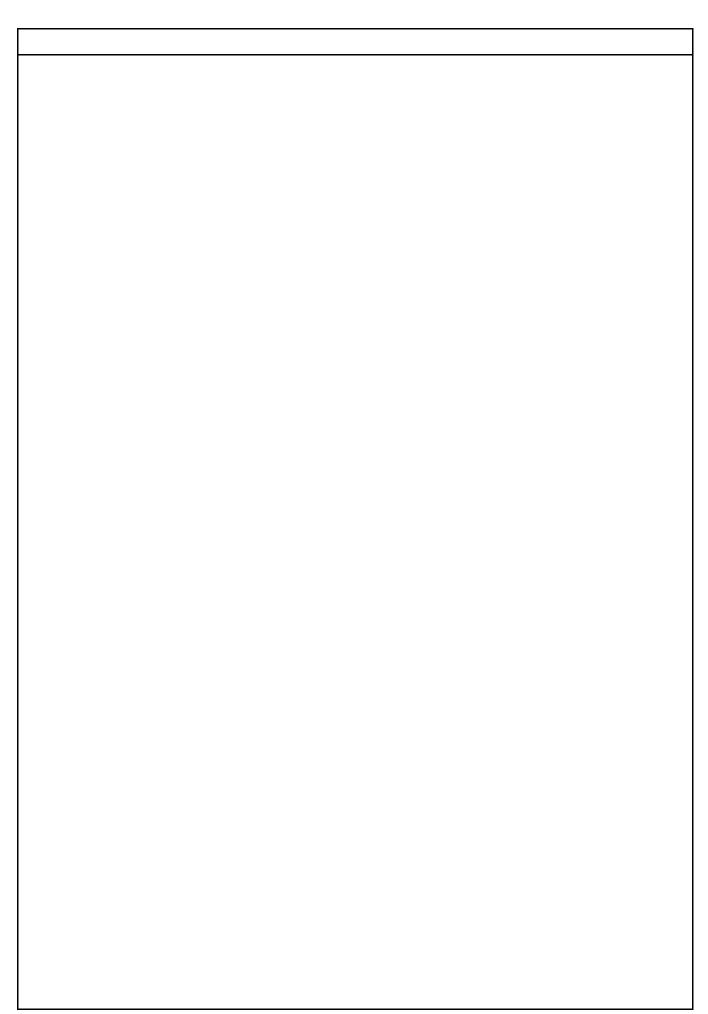
工 期 自 令和 7年 月 日 至 令和 8年 3月13日

設計年月日 令和 7年 8月

(工事価格

前払金及工事出来高の内払回数については松戸市財務規則による。

参考



工事費内訳 1

			,				
名 称	数	量	単位	金	額	備	考
直接工事費							
建築工事		1					
		1	式				
計							
共通費							
共通仮設費							
		1	式				
現場管理費							
		1	式				
一般管理費等							
		1	式				
計			Ι(
工事価格							
		1					
消費税等相当額			式				
		1				消費税率 10 %	
工事費			式				
		1					
			式				

工事種別内訳

2

				,				
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
建築工事			1					
計				式				
					**** /C ^ ==			

				,				
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
建築工事			1					
計				式				
					**** /C ^ ==			

建築工事							
名称	数	量	単位	金	額	備	考
直接仮設		1					
		ı	式				
外壁改修		1					
T00 ldv 17			式				
環境配慮改修		1					
条生材処理			式				
无工物处理		1					
計			式				
- '							
				第1700年			

建築工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1			
		1	式		
計					
A) PRINT	+±++				
外壁改修	撤去	1			
外壁改修	改修		式		
		1	式		
計			I		
環境配慮改修		1			
		'	式		
計					
発生材処理	積込み・運搬・処分				
		1	_45		
計			式		

建築工事				直接仮設									
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
養生											別紙 00-0001		
					1	式							
整理清掃後	片付け					I					別紙 00-0002		
					1								
枠組み本足	+ =	W900				式					別紙 00-0003		
性祖の本定 (手すり先行		w900 仮設材運搬共			1						万小和氏 00-0003		
						式							
ブラケット足場		W600			1						別紙 00-0004		
		仮設材運搬共			1	式							
安全手すり		枠組本足場用									別紙 00-0005		
(手すり先行	亍方式)	仮設材運搬共			1								
タッシュシート張り	}	防炎Ⅱ類				式					別紙 00-0006		
7717 1 1 1 1 1		仮設材運搬共			1						23/124 00 0000		
						式							
金網式養生	枠	仮設材運搬共			1						別紙 00-0007		
					1	式							
小幅ネット張り		仮設材運搬共									別紙 00-0008		
(層間塞ぎ)					1								
落下物養生		朝顔 出幅2.0m				式					別紙 00-0009		
BI MAL		仮設材運搬共			1						233426 00 0002		
						式							
計													
					_		_						

建築工事			外壁改修					撤去				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
ノーリング撤去	石綿含有(レベル3) ; 集積共	显潤手間等共		381	m							
゛ラス留めシーリング 徹去	屋外側 集積共			83.6	m							
計												

建築工事		夕	卜壁改修	;				改修					
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
【外壁改修】													
改修下地調査費													
				755									
					m								
コンクリートひび割れ部 エポキシ樹脂シール	国幅10mm			227									
(材工共)				221	m								
	ß ポリウレタンシーリンク゛10×10√	~15mm											
	ポリマーセメントモルタル押え有り)		38									
<u>(材工共)</u> 欠損部処理	幅100mm,長さ100mm,平	均深20mm程度			m								
(材工共)	ハツリ,錆落ブラッシング,エポ			60									
					か所								
既存塗膜除去部 平滑補修	上裏 C-2 厚1~2mm程度	き こて塗り		3									
平消111111111111111111111111111111111111				3	mi								
外壁水洗い	高圧水洗い 外壁以外												
77至7/201	同止小儿(1) 介至以介			47.2									
					m								
防水形複層塗材E	コンクリート面 ゆず肌状 ロ			700									
	ふっ素系 つやあり 上 下地調整C-2塗り共	塗2四		708	m								
水性反応硬化形軒													
天用仕上塗材				40.5									
基礎巾木用塗材	ポリマーセメント系				m								
左 旋 中 小 用 坐 的	下塗1回·主材塗2回			6.7									
	下地調整(-1塗り共				m								
打継目地シーリング	ポリウレタン系(PU-2)			20.4									
	30×15			294	m								
化粧目地(新設)	カッター入れ、 シーリング(PU	-2)共			- 111								
	20×15			46.2									
建具廻りシーリング	+° - かって (DII 2)				m								
建兵廻りクーワクク (仕上げあり)	ポリウレタン系(PU−2) 15×10			68.8									
					m								
建具廻りシーリング	変成シリコーン系(MS-2)			10.0									
(仕上げなし)	10×10			18.2	m								
ガラス廻りシーリング	シリコーン系(SR-1)												
	10×10			83.6									
					m								
コ・小用ノーソンソ				1									
					式								
サッシクリーニンク゛	ガラス、面格子共 屋外	側		111									
				14.1	m								
【その他】													
 DP塗装	AH ◆四元 丁山=四本かりりで												
DP塗装 (塗替え)	鉄鋼面 下地調整RB種 下塗り 変性エポキシ樹脂	プ [°] ライマー2回		189									
	上塗り等級 1級 既存塗			.07	mi								

考

建築工事		環境配慮	改修							
名 称	摘 要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
	湿式集塵装置付きディスクグラインダ-クレン 工法(参考工法:㈱マルホウ ウォ-タ-クリーンSG 工法) 養生費、除去工事、工事管理(工事 計画書作成・工事写真撮影・完了検査・報告書作成等)消耗品・機器損料、 廃棄物処理含む		711	m						
計										

建築工事	ηщ	日別内訳		発生材処理					積込み・運		 ர்	- 11
名	称	摘	要	数量		単位	——— 単		金	額	備	 考
発生材積込	1,7	31/-3				, ,	•	- III-I			別紙 00-0010	
					1	式						
発生材運搬						I/,					別紙 00-0011	
					1	式						
発生材処分						Д					別紙 00-0012	
					1	式						
計												
				松戸士								

建築工事				直接仮設	! 							
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
養生											別紙 00-0001	
					1							
隻生(外壁i	コケルタ)					式						
支土(77至)	JXTI多)				93.7							
					70. 7	m²						
計												
整理清掃後	段片付け				1						別紙 00-0002	
					1	式						
整理清掃後	分付け					14						
外壁改修					93.7							
						m [*]						
計												
+ 40 P	110										Euro	
枠組み本足 手すり先		W900 仮設材運搬共			1						別紙 00-0003	
士りり元	11/11/1	拟敌约建拟共			ı	式						
卆組本足場	<u>=</u>	建枠 900×1700	布枠500+240									
手すり先	行方式)	掛払い手間			867							
# VD	3	22m未満				m						
枠組本足場 (チオリ先)		建枠 900×1700 供用賃料 修理費含			867							
3-9 776	11/11/	22m未満	Ü		007	m [*]						
卆組本足 場			布枠500+240									
(手すり先		基本料 修理費含む			867							
にミルナナン宝 払		22m未満				m [*]						
反設材運搬 (枠組本足)		建枠幅900(二枚布)			867							
手すり先					007	mi						
計												
゛ラケット足場		W600									別紙 00-0004	
		仮設材運搬共			1	式						
)゙ラケット足場	<u> </u>					IV.						
	-				133							
						m²						
反設材運搬					122							
ブラケット足り	勿 丿				133	m²						
計						-111						

<u>建杂工</u> 事]松明紺		直接仮設						I.
 名 称	摘	 要	数量	単位	単 価	金	 額	備	 考
<u>ロ 1か</u> 安全手すり	枠組本足場用	X	双星	丰四	+	717	切	別紙 00-0005	75
ヘエコ・・ (手すり先行方式)			1					7554754 00 0000	
カヘチナル	+h-40-+			式					
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間		46.8						
	_			m					
安全手すり (チォリサ <i>年</i> ナサ)	枠組本足場用	.+\	46.8						
(手すり先行方式)	供用貝科 修理貸品	er.	40.8	m					
安全手すり	枠組本足場用								
(手すり先行方式)	基本料 修理費含む		46.8	m					
	枠組本足場用(手す	り先行方式)		m					
(安全てすり)			46.8						
計				m					
ēl									
クッシュシート張り	防炎Ⅱ類							別紙 00-0006	
	仮設材運搬共		1	-					
、 「ッシュシート張り	防炎性能 JIS A 89	152 Ⅱ類		式					
	掛払い手間	-	867						
メッシュシート張り	- 防炎性能 JIS A 89	152 Ⅱ粨		m					
トッフュフートり取り	供用賃料 修理費含		867						
	_			m³					
メッシュシート張り	防炎性能 JIS A 89 基本料 修理費含む		867						
	本学科 修注員占む	_	007	m [*]					
仮設材運搬									
(シート・ネット類)			867	m²					
計									
金網式養生枠	仮設材運搬共		1					別紙 00-0007	
			'	式					
金網式養生枠	掛払い手間	=	70.						
	_		79.6	mi					
金網式養生枠	供用賃料 修理費含	む -							
	_		79.6						
金網式養生枠	基本料 修理費含む	· _		m [*]					
wn3≠V&±1T	-		79.6						
				mi					
仮設材運搬 (金網式養生枠)			79.6						
(业州921)艮土什/			19.0	m²					
計									
			松豆士徒づく						

建築工事 直接仮設												
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
小幅ネット張り		仮設材運搬共									別紙 00-0008	
(層間塞ぎ)					1	4-						
小幅ネット張り		防炎ポリエステル				式						
(層間塞ぎ)		掛払い手間	_		258							
		-				m						
小幅ネット張り (層間塞ぎ)		防炎ポリエステル 供用賃料 修理費含む			258							
(眉 左こ/		供用具件 修理員 20	_		230	m						
小幅ネット張り		防炎ポリエステル										
(層間塞ぎ)		基本料 修理費含む	-		258							
反設材運搬		_				m						
以政的建城 (小幅ネット)					258							
					200	m						
計												
客下物養生		朝顔 出幅2.0m			1						別紙 00-0009	
		仮設材運搬共			1	式						
養生防護棚		枠組本足場用										
(直線部)		掛払い手間	-		46.8							
¥₩₩₩		-				m						
養生防護棚 (直線部)		枠組本足場用 供用賃料 修理費含む	_		46.8							
(四水印)		-			40.0	m						
養生防護棚		枠組本足場用										
(直線部)		基本料 修理費含む	-		46.8							
		- 枠組本足場用				m						
(養生防護棚))	11十小五十、人二/20113			46.8							
						m						
計												

建築工事				発生材処	理				積込み・運搬・処分					
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
発生材積込											別紙 00-0010			
					1	式								
発生材積込		人力				14								
					0.3	2								
計						m3								
発生材運搬											別紙 00-0011			
七二亿建城					1						ווטט טט געווענע			
≫ 什 十八 富 村山		2. +				式								
発生材運搬		2t車			1									
						台								
計														
発生材処分					1						別紙 00-0012			
					1	式								
発生材処分		安定型混合廃棄物]		0.1									
					0.1	m3								
発生材処分		石綿含有産業廃棄	物(安定型)											
					0.2	m3								
計						1113								

名	称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考
更い	יניף	カ゛ート゛フェンス H=1800		数 重	7 132	+	ІЩ	312	DA.	т	
V		運搬共		13.6							
と通誘導員	D	交通誘導員B(その)研索会まい		m						
《旭砂等貝	Ь	文/迪奶等員 D (€ 0.	/他华召407	10							
\					人						
主車費		5台/月×3か月		15							
					台						
計											

現場説明書

- 1. 工事名称 松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事
- 2. 工事場所 松戸市小金原四丁目6番地
- 3. 説明事項

<一般事項>

- ・居住者及び保育所利用者への安全対策を十分に行うこと。
- ・工事期間中は現場内の整理整頓及び敷地周辺環境に配慮すること。
- ・騒音、振動及び粉塵等が発生する作業を行う場合は、周辺への配慮を怠らないこと。
- ・契約後、各施工計画書及び施工図は遅滞なく作成し提出すること。
- ・道路上での作業が伴う場合は、道路使用許可等を取得の上、作業を行うこと。
- ・関係官公署への届出等は、遅滞なく行うこと。
- ・ウレタン塗膜防水の保証期間は10年とする。

<工程について>

- ・居住者の生活及び保育所の運営に支障が生じることがないように工程を組むこと。
- ・全体工程、週間工程及び当日の作業内容等を掲示し、十分な周知を行うこと。 なお、施設関係者へは事前に周知すること。

<仮設について>

- ・居住者の生活及び保育所の運営に支障がないよう計画し、施設関係者と協議の上、 決定すること。
- ・搬出入時は、適宜、交通誘導員等を配置し、安全確保に努めること。

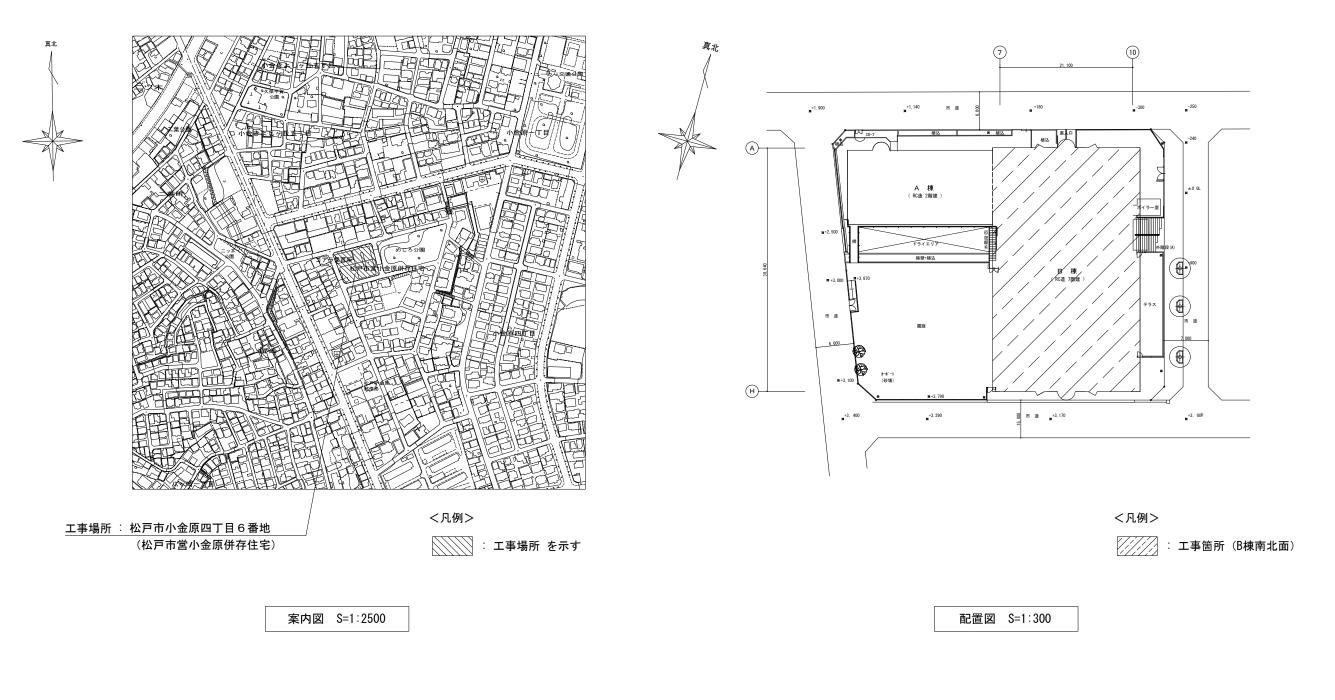
<週休2日制適用工事について>

- ・本工事は、週休2日工事(発注者指定方式)である。
- ・受注者は、現場閉所(休息)による週休2日工事として取り組むこと。 なお、予定価格については4週8休達成相当の経費を補正している。
- ・週休2日の実施にあたっては、「松戸市営繕工事週休2日工事試行実施要領」に 基づき行うこと。

<注意事項>

- ・提出書類は松戸市建築工事提出書類等一覧表による。
- ・検査・立会は松戸市建築工事検査・立会一覧表による。
- ・落札者は契約締結後、書式データ・図面データ等をお渡しするのでCD-RW等を 建築保全課へ持参すること。

松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事

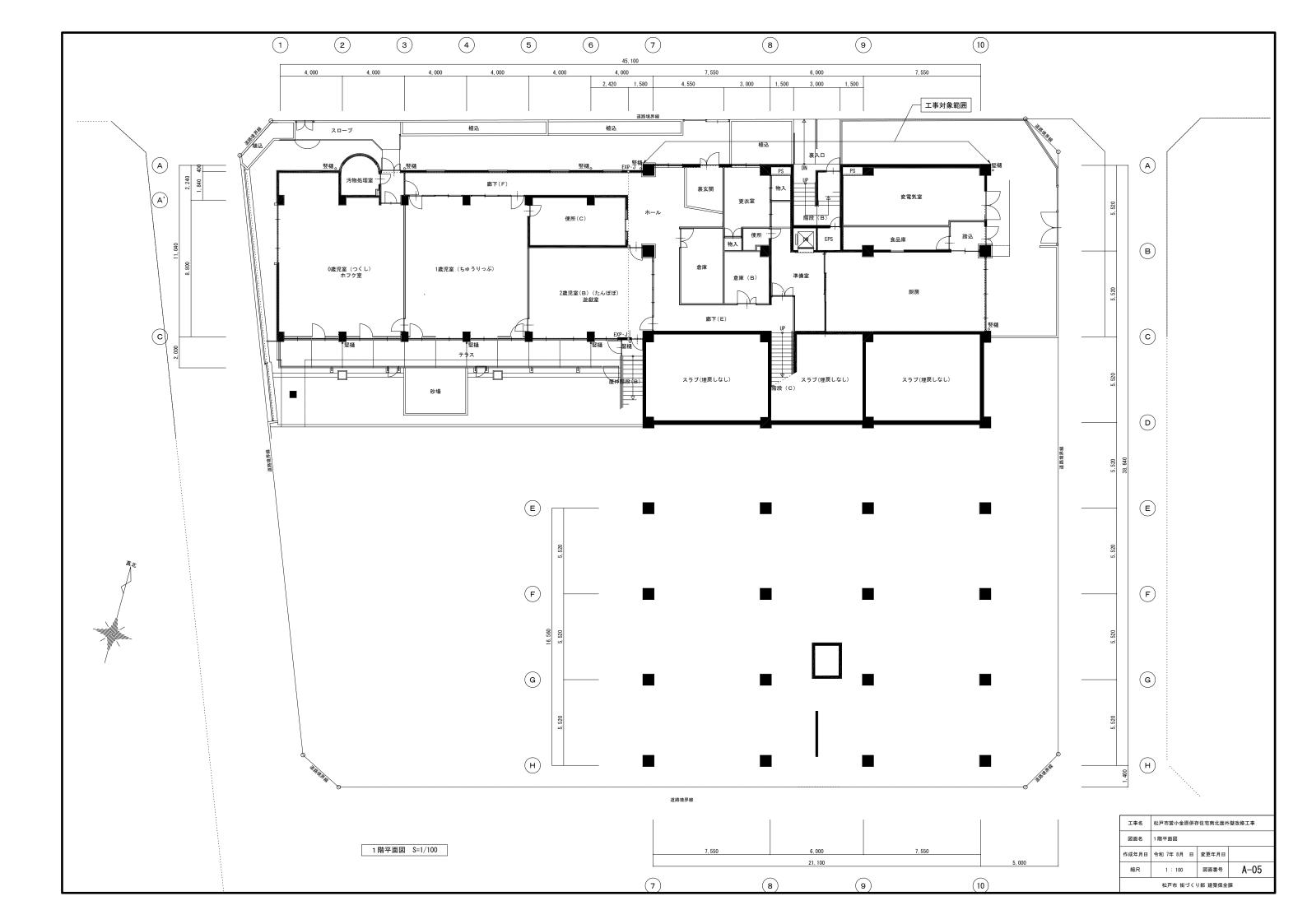


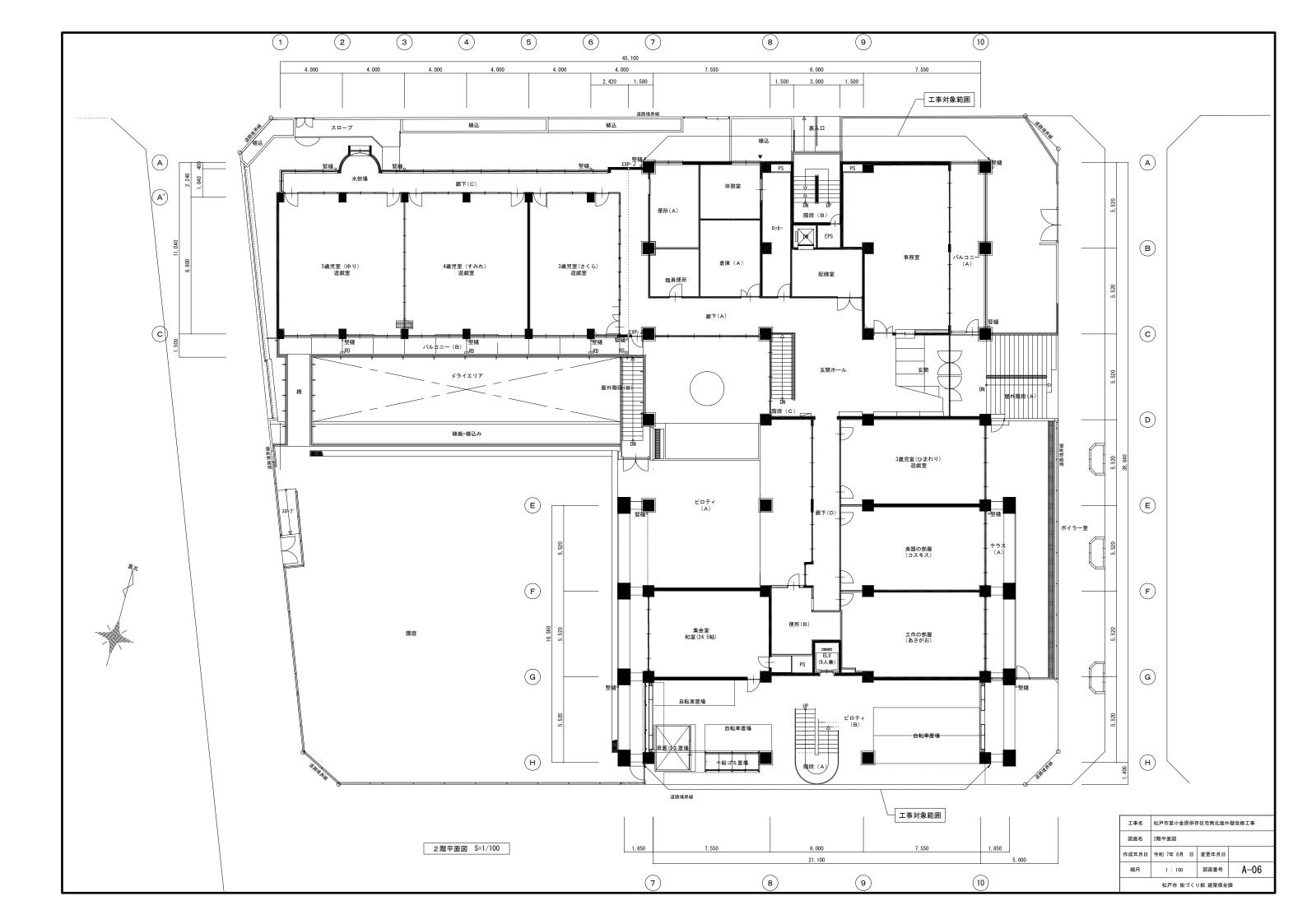
工事名	松戸市営小金原併存	存住宅南北面外	壁改修工事										
図面名	案内図・配置図	案内図・配置図											
作成年月日	令和 7年 8月 日 変更年月日												
縮尺 1: 2500 図面番号 A-01													
松戸市 街づくり部 建築保全課													

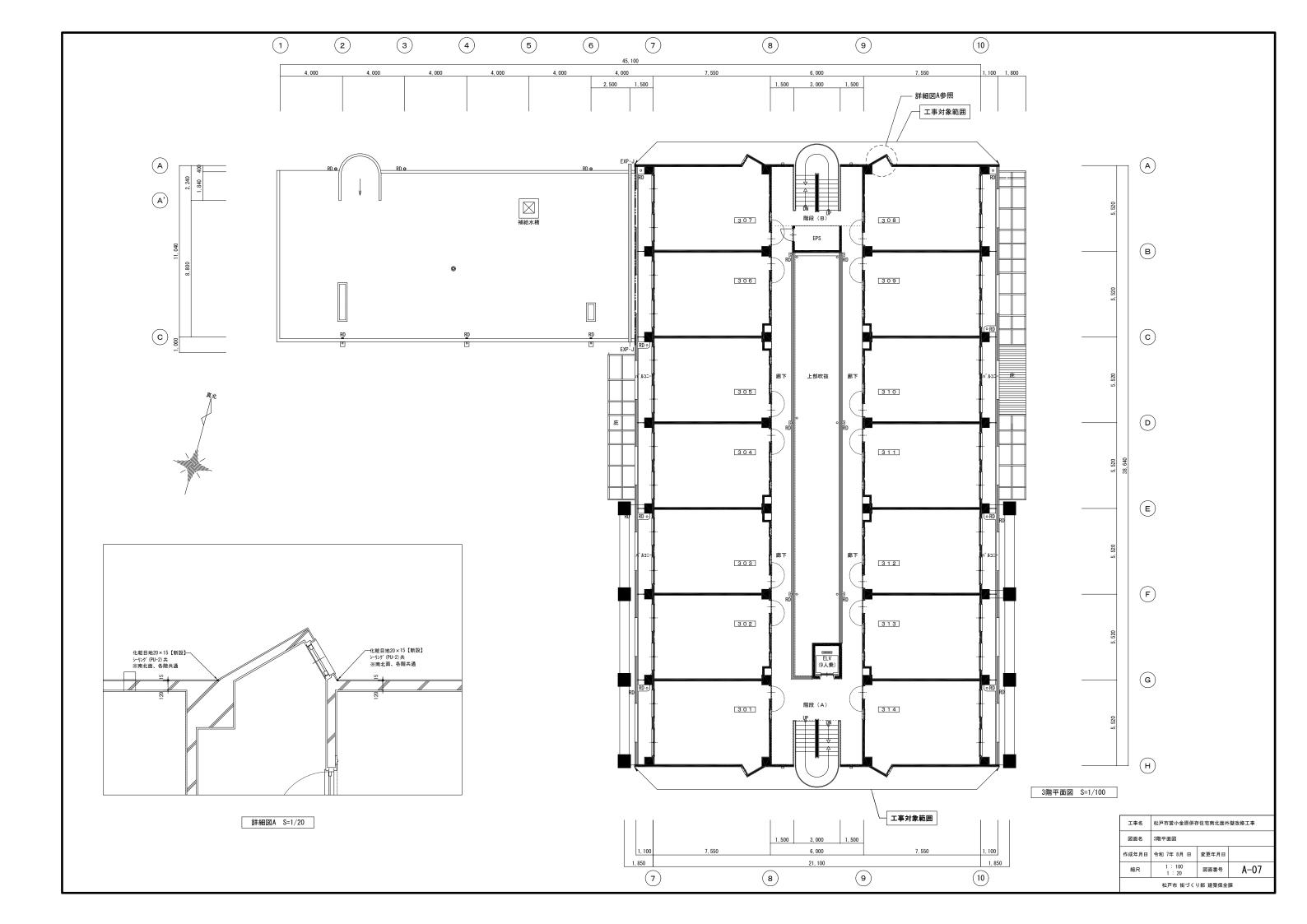
	章 項目	特記事項	項 目	特記事項	項 目	特記事項		
松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事 特記仕様書 令和 7年 8月	① ①運用基準等	○ 松戸市建築工事に関する提出書類	13 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。	3 合成高分子系	[3.5.3][表3.1.1][表3.5.1~3]		
仕 様 書	<u>ー</u> 般	・ 工事写真の援り方 建築編 (国土交通省大臣官房官庁営締部監修)◆ 松戸市建築工事現場表示板仕様		分類・規格 撮影箇所数 撮影部数 原版の大きさ (mm) ・カラー 外部() 内部() ※1 ・6 ※100×125以上	ルーフィング シート防水	防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 仕上げ塗料等 使用分類 ・POS、S4S工法 ***図示 ・S-F1 ・S-F2 ・カラー ****事行 ・AM1 ・ S-M2 ・ S-M		
I 工事概要	共 通 ②工事実績情報サービ			※キャビネ版 ・べた焼き		・ S-MI · S-MZ · シルバー ・軽歩行 ・ S3S、S3SI工法 · S-F1 · S-F2 · S1-F1 · S1-F2		
1. 工事場所 松戸市小金原四丁目6番地	事 ス(CORINS)への登録 項			<td <="" colspan="2" td=""><td></td><td>. MAS MASIT ≠ · S-M1 · S-M2</td></td>	<td></td> <td>. MAS MASIT ≠ · S-M1 · S-M2</td>			. MAS MASIT ≠ · S-M1 · S-M2
2. 敷地面積 2973, 659㎡	(3)施工計画書	・ 工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し提出すること。〔1.2.2〕・ 施工計画の品質計画に係る部分については監督職員の承諾を受けること。		324×400 (mm) ・電子データ 外部() 内部() ※2 ※200万画素以上		· S1-M1 · S1-M2 · DOS1 SASIT:		
3. 改修建物概要		○施工図等を工事の施工に先立ち作成し、監督職員の承諾を受ける。○施工図等の内容を変更する必要が生じた場合は監督職員に報告する。				• PIS工法 • S-C1		
構 造: RC造	4 電気保安技術者	 エ事現場に置く電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、[1.3.3] 		電子データはRGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。 撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)		脱気装置 ※設けない ・設ける 目地処理 PCコンクリート [3.5.4]		
<u>階</u> 数: 地上7階 延べ面積: 4,763㎡		電気工作物の保安の業務を行うものとする。	4 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。	4 塗膜防水	[3.6.3][表3.1.1][表3.6.1]		
	⑤施工条件	※ 現場説明書による [1.3.5]	(5) 設計GL	※図示 ・設計GL=現状GL		防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 ・L4X工法 ※図示 ・X-2(密着工法)		
	6 発生材の処理等	※ 現場説明書による ・場外搬出適正処理 [1.3.12]	⑥工事写真	※着工前、完成写真2部 工事工程写真1部		既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装(L4X工法の場合) ・活膜を残す [3.2.6]		
4. 工事内容	⑦材料の品質等	[1.4.2] 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、	ロ ワンデーレスポンス			脱気装置 ※設けない ・設ける [3.6.3]		
工事種目工事範囲		JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)~(6)の事項を満たす	の実施	1. この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。	5 脱気装置	[3.3.3][3.4.3][3.5.3][3.6.3] 種類 材質 設置数量		
2 仮設工事 足場設置、ガードフェンス設置		ものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2) 出来が約五パ月度の施理が活躍したかねていること。		「ワンデーレスポンス」とは 受注者から質問、協議への回答は基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。		<td color="1" color<="" rowspan="2" td=""></td>		
3 防水改修工事		(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 (3) 安定的な供給が可能であること。		ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答 期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。		・立上り部脱気型 ・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・()㎡当たり1箇所 ・ステンレス ・銅		
4 外壁改修工事 外壁補修、仕上塗材塗り、シーリング打替等		(4)法令等で定める許可、認定又は免許等を取得していること。 (5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。		 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状况等を把握できる工程 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異 		・ハナンレハ・・卵		
5 建具改修工事 -		(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの		が生じた場合は速やかに監督職員へ報告すること。 4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注	⑥シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~7][表3.1.2]		
6 塗装改修工事 DP塗替(鉄鋼面)		証明となる資料又は外部機関((社)公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に 提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの	18 火災保険等	者は協力すること。 ※火災保険等の証券等の写しを提出提出すること。		・シーリング充填 ・シーリング再充填工法 ①シーリング打替え ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法		
7 耐震改修工事 -		限りではない。	2) ①足場その他	内部足場 種別 ※脚立、足場板 ・棚足場 [2.2.1]		シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2][表3.7.1]		
8 環境配慮改修工事 石総含有仕上塗材除去		同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。	· 反	外部足場 手すり先行工法に関するガイドラインに基づき設置すること。 [2.2.1][表2.2.1] 屋根工事及び小屋組みの建方工事における墜落事故防止対策はJIS A 8971に基づき設置すること。		※下表以外は改修標仕表3.7.1を標準とする 施工箇所 シーリング材の種類 (記号)		
9 その他 化粧目地新設	8 化学物質を放散する 建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。	E	1		打継目地、化粧目地(新設)、建具廻り		
10 搬去工事 各工事に伴う撤去		1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボ。 ード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを		・定置する足場、作業構台等は別契約の関連する工事の関係者に無償で使用させる。		ガラス翅り (シリコーン系(SR-I)		
		放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 2)保温材、衝撃材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて	②養生	既存部分の養生 ※ビニールシート ・合板 厚12 [2.3.1] 既存家具等の養生 ※ビニールシート ・	7 とい	といの材種 [3.8.2] [表3.8.1] ・配管用鋼管 ※カラー硬質塩化ビニル管		
I 建築工事仕様 1. 共通仕様		(7株金の、国軍や、開放的はホルムアルアして及びヘアレンを放放しないが、放放が極めて 少ないものとする。 3)接着剤はフタル酸ジーnーブチル及びフタル酸ジー2ーエチルヘキシルを含有しない難揮発		固定家具等の養生 ※行う ・行わない		網管製といの防器 [3.8.2] [表3.8.3]・次の箇所は行わない()		
(1) 図面及び特記仕様に記載されれいない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編)(令和7年版)」(以下、「改修標仕」という。)及び国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事		性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散し	3 仮設間仕切り	仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表2.3.1]		防露材のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆・		
標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)」(以下「標仕」という)による。		ないか、放散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が		種 別 下 地 仕上材(厚さ mm) 充てん材 塗 装 ・A種 ※軽量鉄骨 ・合板(※9.0・ラワン) ※無し		掃 除 ロ ※有り ・無し ・ たてどい受金物の取付け [3.8.3]		
 特記仕様 (1)項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。 		極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、		・B種 ・木下地 ※せっこうボード(※12.5・・・・) 厚さ mm・片面・ ・C種 ・単管下地 防炎シート	0 - 11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1			
② 特記事項は、〇印の付いたものを適用する。 ・		ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。		・仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度 ※無し ・銅製扉 ・片面フラッシュ程度 ・有り	8 アルミニウム製笠木	[3.9.2~3] [表3.9.1] 種類 呼称肉厚(nm) 製品幅(nm) 固定間隔 備考		
○印と※印の付いた場合は共に適用する。		規制対象外 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品	4 監督職員事務所	規模及び仕上げの程度は現場説明書による。 [2.4.1]		・200形 ※1.3程度 ※200 固定方法及び間 隅角部及び突き当り部等の ・225形 ※1.6以上 ※225 隔は品質計画で 役物は本体製造所の仕様に		
(3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標化の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標化の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (7) 図 (2) [[[[[[[[[[[[[[[[[[[②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品	⑤工事用水	構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる(※有償 ・無償) [2.4.1]		・350形 ※2.0以上 ※350 定めたもの よる。 板材折曲げ形の取付工法・図示 [3.9.3]		
(5) ⑥ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(以下「グリーン購入法」という)の特定調達品目を示す。		a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用		※子メータを設置する。	9 折板葺	[13.3.2~3][表13.2.1]		
松戸市建築工事現場表示板仕様		c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	⑥工事電力	横内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償) [2.4.1]		形式 ※重ね形 ・はぜ締め形 ・ 形状(mm) 山高() 山ピッチ() 板厚 ・0.6 ※0.8		
自 ★字(由) (1)材料		e. 非ホルムアルテヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルテヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用	7 防音パネル	※アルミ製 (解体作業期間)		材料 ※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (規格等) (CGLCCR-20-AZ150)		
T事名称 文字(白) 1)耐水合板(ラワン厚み12mm SOP仕上げ) 2)枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上 2)枠及び桟木については、部材寸法45×45mm以上			8 仮門	・キャスターゲート W= 3.0 m、H= 1.8 m、 箇所 ・キャスターゲート W= 6.0 m、H= 1.8 m、1箇所		軒先面戸板 ※有り ・無し 断 熱 材 ・有り(種別: 厚さ: mm) ※無し		
数 計		②建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品	(9)仮囲い	・ キャスターフート W= 0.0 m, r= 1.0 m, r (B)		耐火性能 30分耐火 ※無し		
1 1 1 2 2 2 2 2 2 2		③IBJISのEo規格品 ④IBJASのFoo規格品	UNEU.	※成型鋼板 H= 2.0 m、L= m、 箇所 ・図示	(1) 保証期間 (1)施工数量調査	※ 10年保証とする。 調査範囲 ※外壁改修範囲(庇上東会t) ・図示の範囲 [1.6.2]		
会社 に風並びに衝撃等に十分耐えられるよう固定し 公衆の生命及び財産に危害のないようにする	9特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。	10 /E=0.3450H) ONCEMENT	調査内容 いな割れの幅及び長さを壁面に表示する。 また、ひび割れ部の挙動の有無、淵水の有無及び		
自 こと。	10 技能士	適用工事種別 技能検定の職種	10 仮設道路	・砕石敷(厚さ mm 幅 mm) L= m (砕石は、再生クラッシャランを使用)	Ī Z	いい割れの階級の長さを整皿に表示する。 また、いい割れ部の学期の有無、源水の有無及い 第計の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の		
1000		鉄筋工事 ・鉄筋施工(鉄筋組立作業)		・銅板敷(厚さ 22mm 幅 1500mm L= 6m) 31枚	* -	形状寸法等を調査する。コンクリート表面のはがれ及び剥落を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面の剥がれ及び剥落部を壁面に表示		
		コンクリート工事 ・型枠施工 鉄骨工事 ・とび	3 1 アスファルト防水	[3,3,3](表3,1,1)[表3,3,3~10] 防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別	5	する。また既存塗膜と新規上塗り材との適合性を確認する。 調査報告書の部数 ※2部		
		ブロック・ALCパネル工事 ・ブロック建築 ・ALCパネル施工 防水工事 ・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業	k 女	保 ※P1B ・B-1 ※B-2 接 ・P1B1 ・T1B1 ・B1-1 ※B1-2 3	ŧ 1	既存塗装面外壁補修想定数量 補修項目 外壁		
		・金族防水工事作業	\$ C	bf • P2AI • AI-1 **AI-2 4 xk **P2A • A-1 **A-2 3	\$ {	ひび割れ 0.2mm未満 129m ひび割れ 0.2mm以上 39m		
		タイル工事 ・タイル張り 木工事 ・建築大工	\$	露出 · M4C · C-1 ※C-2 防水 · M3D · P0D · D-1 ※D-2		欠損(100×100程度) 60箇所 既存塗膜除去 331㎡		
		屋根及びとい工事 ・建築板金(内外装板金作業) 金属工事 ・内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)		E 内 ・ P E				
		左官工事		アスファルトの種類 ※3種 ・4種 [3.2.2][3.3.2]				
		カーテンウォール工事 ・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工		アスファルトの/世級				
		・		POD工法の二重ドレン ※設けない・設ける [3.2.5] MIOD、POD、屋根露出防水絶線熱工法の脱気装置 ※設けない・設ける [3.3.3]				
		・		既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法の場合) ・除去する [3.2.6]				
	11 化学物質の濃度測定	: [1.7.9] 施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、		ただし、特定フロンを含まないもの。				
		パラジクロロベンゼンの濃度測定し、報告すること。		立上り部の保護 ・れんがの種類 ※見え隠れ部分は市販品のレンガ又は、市販品のレンガ形				
		測定はパッシブ型採取機器により行う。 着工前の測定 ・行う		コンクリートブロックとする。 - 乾式保護材の材料 ※押出成形セメント板 厚さ15mm		-		
		測定対象室 · - 測定箇所数 · -	2 改質アスファルト	[3. 4. 3] [表3. 1. 1] [表3. 4. 1~3]				
			シート防水	防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 厚さ(mm) ・M4AS工法 ・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-T3				
	②完成図等	※作成する ・作成しない ※完成図 CADデータ		- M3AS工法 - AS-T3・AS-T4・AS-J1・AS-J3 - POAS工法		工事名 松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事		
				・M3ASI工法 ・ASI-T1 ・ASI-J1 ・M4ASI工法		図面名 特記仕様書 1		
				PDASI工法 脱気装置 ※設けない ・設ける		作成年月日 令和 7年 8月 日 変更年月日		
						縮尺 no scale 図面番号 A-02		
						松戸市 街づくり部 建築保全課		
	-							

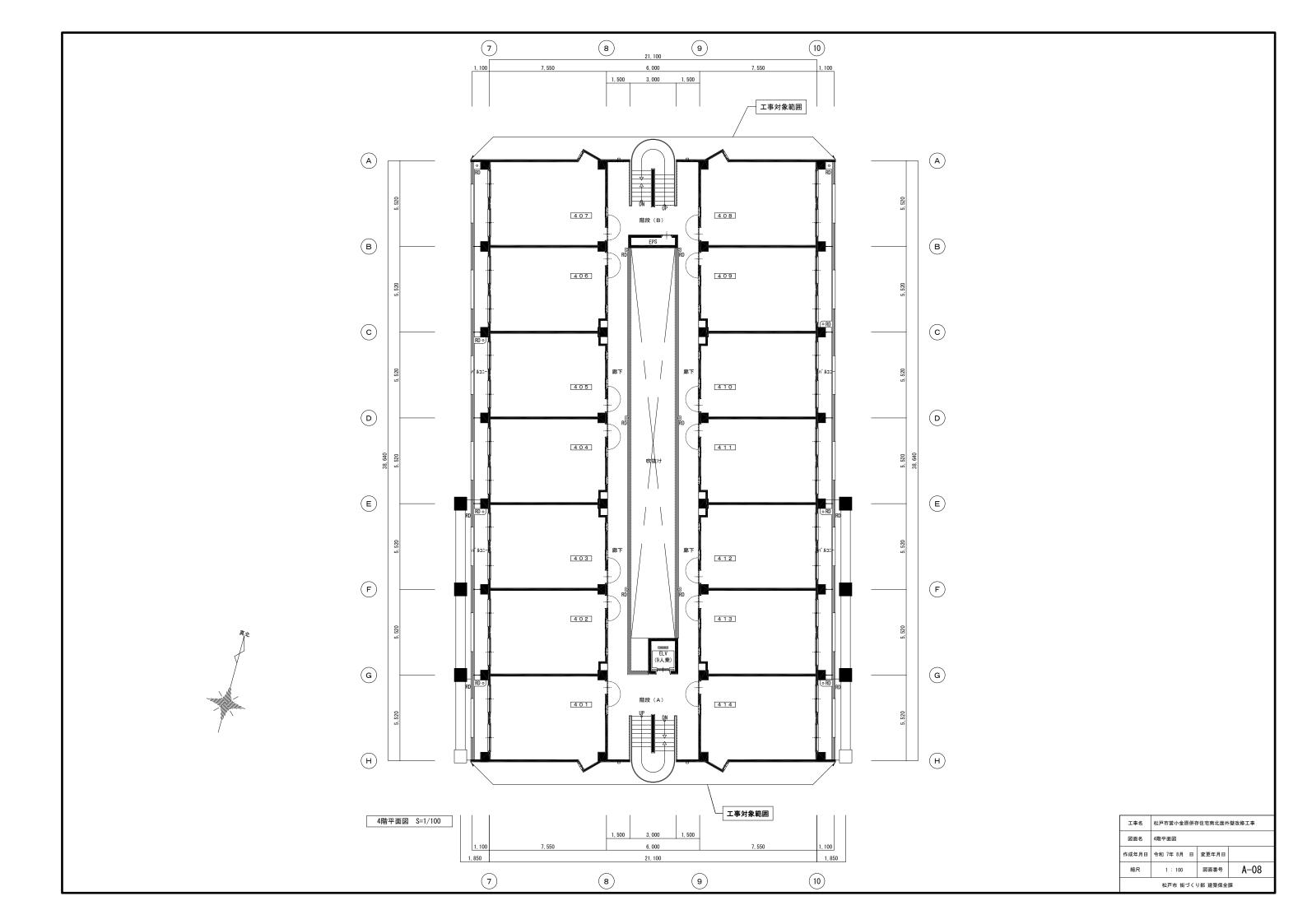
章 項目	特 記 事 項	項目	特 記 事 項	項目	特 記 事 項	項目	特 記 事 項
②改修材料	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・ 行う(※監督職員の指示による)	4 浮き部改修工法	[4, 1, 4] [4, 4, 9] [4, 4, 9~15] [表4, 3, 5~6]		表面処理 [5. 2. 4] [表5. 2. 2]
外 壁	(%) (kg/I) 標準時 温冷繰り返し後 (%) (N/mm)) 騒	撤去			改修工法の種類		- BA-1種又はBB-1種 · BA-2種又はBB-2種(※ブラウン系 · ブラック · ステンカラー)
改	70.0以上 1.80程度 0.60以上 0.40以上 0.20以上 4.0以上 0.60以上 0.40以上 0.20以上 4.0以上 0.60以上 0.6	牧 2 ひび割れ部改修工法 を	 ・ 既存モルタル撤去工法(範囲は図示 撤去部分の補修は、3. 欠損部改修工法による) ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.2][4.3.6] 		一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・アンカーピンニング部分 ※16 ※16 ※25ml		屋内建具 表面処理 ※BC-1種 [5. 2. 4] [表5. 2. 2]
Ī	・ パラ状エポキン樹脂 エ T (4) (標準)		注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考		エポキシ樹脂注入工法		・BC-2種(ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
事	初期硬化性(標準) 接着強さ(標準) 圧縮強さ 曲げ強さ 硬化収縮率 車 2.0 N/mm 以上 6.0 N/mm 以上 50.0 N/mm 以上 30.0 N/mm 以上 3.0 (%) 以上	• \	※自動式低圧エポキシ 0.2以上~1.0未満 ※200~300 樹脂注入工法		・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※25ml エボキシ樹脂注入工法 ※10 ※20 ※25ml	4 網戸	防虫網 [5.2.3][5.3.3]
共	a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。		・手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40・		・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※50ml ポリマーセメントスラリー注入工法		網の種別 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ※ステンレス(SUS316)製 形 式 ・外部可動式 ※固定式
事	c. 常温・常湿(温度5°C~35°C、湿度15%~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間 タ		・機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0未満 ※150~250 ※130・		・注入ロ付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml		
項	保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。 ル 塗		注入工法 [4.3.5]		エボキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピラニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml	5 鋼製建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.4.2] 表 5.4.1] 耐風圧性能の適用は建具表による
	・ 可とう性エポキシ樹脂 りが 2000 かか かり カンカン 1200 かかか 14 カンカン 1200 かか 14 カンカン 1200 かか 14 カンカン 1200 かかか 14 カンカン 1200 かか 14 カンカン 12	\	※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)		エポキシ樹脂注入工法		特定防火設備戸 ・適用する [5.4.2]
	性能 常温物性 低温性 加熱変化 引張接着性 引張強さ 1.0N/mm 以上 1.0N/mm 以上 最大引張応力 1.0N/mm 以上	: :	検査(コア抜取り) ※行わない [4.2.5]		・注入口付アンカーピンニング全面	6 鋼製軽量建具	簡易気密型ドアセットの適用は建具表による [5.5.2][表5.5.1~2]
	伸び 30.0%以上 30.0%以上 破断時の伸び 10.0%以上 け 比重 表示値±0.10 対	f L	・行う(抜取り部の補修方法:)		・注入口付アンカーピンニング ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml エポキシ樹脂注入タイル固定工法	7 ステンレス製建具	ドアセットの適用は特記による [5. 6. 2]
	押出し性 60秒以下 壆	• ±	- Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.3.5][4.3.7]		アンカーピン [4.4.5]	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	耐風圧性能の適用は建具表による [5.6.2]
	スランプ 3mm以下 加熱減量 5%以下		注入工法の種類 品質・規格等 備 考 ・シーリング用材料 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充填		材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。		表面仕上げ ※批仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.4] 曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ(補強有り) [5.6.5]
	a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。		ポリウレタン系シーリング材 ※行わない ・行う		注入ロ付アンカーピン 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径6mm程度とする。		
	b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温・常湿(温度5℃~35℃、湿度45%~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間		- 可とう性工ポキシ樹脂 JIA A 6024		村員	8 自動ドア開閉装置	※製造所標準製作の規定寸法許容差による [5.9.1~3][表5.9.1~6]
	保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること。		・シール工法 (亀裂な0. 2mm未満) [4. 1. 4] [4. 3. 5] [4. 3. 8]	5 下地処理	サンダーケレンの上、モルタル薄塗 [4.4.2~4][4.4.7~8]		開閉方法 検出装置の種類 ・光線(反射)センサー ・熟線センサー ・電波センサー
	・タイル部分張替え工法用材料		(※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面)。	6 タイルクリーニング	工業用塩酸		・車椅子使用者用便房出入口 ・音波センサー ・光電センサー ・タッチスイッチ
	接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 冷熱水中線返し 熱劣化 強度 (N/*) 0.60以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上		 パテ状エポキシ樹脂(JIA A 6024) 可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024) 				引き戸 ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者用便房スイッチ ・凍結防止装置(適用箇所は建具表による)
	凝集破壊率(%) 75以上 50以上 50以上 50以上 50以上 50以上		BE #5 1144 1.55+4 0 464 # TAY 5 7# 665	4 1 既存塗装等の撤去	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.5.4][表4.5.4~7]	o 스웨스 LRU리트	品質規格 ※改修標仕5.10.3による。 [5.10.3][表5.10.1]
	皮膜物性 標準 高温 低温 アルカリ温水 熱劣化 引張強さの(**) 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上 1.00以上		・ 既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 (※シール工法の範囲 ・監査職員の指示による)	ト 及び下地処理 圭	工 法 処理範囲 下地面の補修 ・サンダー工法 ※補強範囲 図示 ・ ひび割れ部改修工法	9 自閉式上吊り引戸 装置	品質規格 ※改修標仕5.10.3による。 [5.10.3] [表5.10.1] ・製造所標準仕様による。
	伸び(%) 30以上 30以上 20以上 20以上 貯蔵安定性 容積と粘土に著しい変化がないこと。	3 欠損部改修工法	・ 既存モルタル面の欠損部 [4. 1. 4] [4. 3. 3] [4. 3. 5] [4. 3. 9~10]	k	※高圧水洗工法 ※塗替え範囲 図示・浮き部改修工法	10 木製建具	※建具表による。
	耐熱性 JIS A 5548に準じた試験において、80℃で4週間、9.8Nおもりで安定していること。		改修工法の種類 材料 品質・規格等	> □	加圧力 ※12MPa程度 ・欠損部改修工法 ・ 次損部改修工法 ・ ※既存仕上面全体	ALEX	かまち戸の樹種 かまち() 鏡板() (5.7.2)(表5.7.2)
	a. 外観は均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等侵すものでないこと。		・充填工法 エボキシ樹脂モルタル ・モルタル塗替え工法 改修標仕4.2.2 (₹)による 塗り厚25mmを超える場合の補強	5	・水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体		ふすまの上張り ※新鳥の子程度又はビニル紙程度(押入れ等の裏面は除く) (表5.7.3) ・鳥の子
	c. 「化学物質の審査および製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生		※行う・行わない・図示	E	既存塗膜の除去は、環境配慮改修工事による。	[4.	5 ₄]建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (5.7.2)
	法」に基づく、「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常湿(温度20±15°C、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合	4 浮き部改修工法	[4. 1. 4] [4. 3. 4] [4. 3. 11~16] [表4. 3. 5~6]) 上 (2)下地調整材	※下地調整材C-1 (基礎巾木仕上塗材新設部)		※F☆☆☆ ・非ホルムアルデヒド系接着剤
	していること。 e. ずれ抵抗性があること。		改修工法の種類 アンカーピンの本数 注入口の箇所数 充填量 -	=	下地調整材C-2 (既存塗膜除去部、防水形複層塗材E新設部)	[4. 建县概念物~5]	マスターキー ・製作する ※製作しない [5.8.4] 建具用金物 [5.8.2][表5.8.1~5]
	f. 混錬終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。		一般部 指定部 一般部 指定部 注入量	『 ③仕上げ塗材仕上げ	種類、仕上げの形状、工法 [4.1.5][4.5.2][表4.5.1~2]		錠類はシリンダー箱錠(レバーハンドル)とする。
	(・) エポキシ樹脂モルタル		・アンカーピンニング部分 ※16 ※25 ※25ml ※実備部: 5本/m ※実備部: 5本/m	±	種類 呼び名 仕上げの形状 上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材Si ・砂壁状 耐候性 ※耐候形3種		なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 吊金物
	接着強さ 圧縮強さ 曲げ強さ		・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25ml		・可とう形外装薄塗材Si ・さざ波状 ・耐候形2種		・丁番(内部建具については、軸を鉄芯としてもよい)
	1. ON/mm 以上 20. ON/mm 以上 10. ON/mm 以上 a. こて塗りが容易で、かつ硬化後の仕上りが良好であること。		エボキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面 ※13 ※20 ※50ml		・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・凸凹状 溶媒 ※水系		・ピポットヒンジ
	b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第1種有機溶剤を使用しない		ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング部分 ※9 ※16 ※25ml		・防水形外装薄塗材E ・平たん状 ・弱溶剤系	12 ガラス	建具表による ・図示 [5.14.2] ・ガラスブロック 改修標仕5.13.5 [5.14.5]
	こと。		エポキシ樹脂注入工法		・ 外装薄塗材S ・ 溶剤系 ・ 複層塗材CE ・ で変層性上塗材 ・ 複層塗材CE ・ で変形状		寸法(mm) 色 調 パターン 防火認定
	d.形状に異常が無く、垂れが生じないこと。 e. 常温・常湿(温度20±15°C、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合		・注入口付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25ml エポキシ樹脂注入工法		・可とう形複層塗材CE ・凸部処理 樹脂 ※アクリル系 ・複層塗材Si ・凸凹状 ・ポリウレタン系		※クリア ・熟線反射 ※無し ・乳白 ・カラー() ・有り
	していること。		・注入ロ付アンカーピンニング全面 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50ml		・複層塗材E・アクリルシリコン系	12 +=	
	ゔポリマーセメントモルタル		ポリマーセメントスラリー注入工法		・複層塗材RE	13 ガラス留め材及び 溝	ガラス留め材 [5.14.2~3] 建具の種類 種類
	ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン一酢ビ系等		アンカーピン [4.3.5] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。		・防水形複層塗材CE・つやなし		アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガスケット(FIX部はシーリング材) 鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材
	曲げ強さ 接着強さ (N/mm)				防水形複層塗材E・メタリック ・防水形複層塗材RE		ステンレス製 ※シーリング材
	(N/mm) (N/mm) 標準時 湿潤時 低温時 6.0以上 20.0以上 1.0以上 0.8以上 0.5以上		注入口付アンカーピン 「4.3.5] 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)、呼び径外径6mm程度とする。		・防水形複層塗材RS 防水形の増塗材 ※行う		防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。
	表面状態 垂れの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生してないこと。 透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。	5 巾木モルタル塗	- 樹脂モルタル T3		・可とう形改修用仕上塗材 ・可とう形改修塗材E ・平たん状(ブレース部分) ・可とう形改修塗材E ・さざ波状	14 ガラス用フィルム	名 称 種 類 張り面 性能値 ※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・外張り 飛散防止率 DI
	均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	5 巾木モルタル坐	・個相モルタル(3		・可とう形改修塗材CE ※ゆず肌状 防火材料の指定が必要な場合 [4.5.2] (15.6.2)		
	・ボリマーセメントスラリー 4-	-3 1 既存タイル張りの	・外壁タイル張り全面 ・部分撤去 [4.4.2~4]		※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。		品質JIS A 5759による
	広がり速度 長さ変化率 引張接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性 外	撤去	撤去範囲 ※下地モルタルまで ・張り付けモルタルまで ・タイルのみ		※仕上塗材・下地調整材は同一メーカーとする。	15 重量シャッター	[5. 11. 2] [表5. 11. 1]
	(cm/s) (収縮) (材齢28日) (材齢28日) (72時間) (劣化曲げ強さ) 3以上 3.0%以下 0.5N/mm 5.0N/mm 15%以下 6.0N/mm	差 数 2 ひび割れ部改修工法	改修箇所 ※既存タイル張り面	4 その他の仕上げ	○基礎巾木仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ベースプロテクト同等品とする		シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧性能()N/m²
			・既存タイル撤去面(・コンクリート面 ・モルタル面) ※樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5][4.4.5]		○水性反応硬化形軒天用仕上塗材 ※エスケー化研㈱ ノキフレッシュ同等品とする		・外壁用防火シャッター 耐風圧性能()N/㎡ ・屋内用防火シャッター
	粘調係数 0.50~1.00	5	ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考				・屋内用防煙シャッター
	・吸水調整材	,	※自動式低圧エポキシ 0.2以上~1.0未満 ※200~300 ※ 樹脂注入工法				- 品質JIS A 4705による 開開機能
	項目 全固形分(%) 吸水性(g) 接着強度(N/mm) 界面破断率 (%) イ 品質・性能 表示値±1%以内 30分で1g以下 0.98以上 50%以下		・手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40・ 注入工法 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70・				※電動式(手動併用) ・手動式 危害防止機構 ※障害物感知装置(自動閉鎖型) [5.11.2]
	お質で有害と認められる異物の混入がないこと。 0.96以上 0.90以下 1.00以下 1.00以	±	・機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0未満 ※150~250 ※130・				・シャッターの二段降下方式
		± f	注入工法				管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない [5.11.2]
④ ①ひび割れ部改修	工法 ※ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5] 外 オースナンの経期 (7.1.7年) かき (2.5.1 日間径 (2.5.1 日間 (2.5	⊦	注入材料 [4.4.5] ※ 神気は松田汁 3 〒ガナン 世際 / IIS & 602/研制 摩形 ▽ (土力制 摩形)			16 軽量シャッター	[表5.12.1]
外壁	注入工法の種類	Ē	※建築補修用注入エボキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)				開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.12.2]
改	樹脂注入工法 ・手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 ※ 50~100 ※40・		検査(コア抜き取り) ※行わない [4.2.5]	5 1 改修工法の適用	[5.1.1][5.1.3]		スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板・塗装溶融55%7k: つん-亜鉛合金めっき鋼板 [5.12.3] 形状 ※インターロッキング形 ・オーパーラッピング形 [5.12.4]
785 I	注入工法 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70 ・		13 7 (DC C NA 7 HP47 III 1897) MA .	E	種類 かぶせ工法 撤去工法 備考 ・アルミニウム製建具 ・有り		ガイドレール等 [5.12.4][表5.12.2]
事	・機械式エポキシ樹脂 注入工法 ※150~250 ※130・		・ リカットシール材充填工法 [4.1.4][4.4.5][4.3.5~6] 充填材料 品質・規格等	Ż	・銅製建具 ・外部 ・有り ・有り		※鋼板製 ・ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm) 耐風圧性能()N/m ²
7	注入材料 [4.2.2] ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)		・シーリング用材料 ※N成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタル充填 ポスウレタン系シーリング材 ※行わない ・行う	\$ [・銅製軽量建具		
ンク	検査(コア抜取り) ※行わない [4.2.5]		・可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024	5	・ステンレス製建具		
ا با ا	・行う(抜取り部の補修方法:)				・自動ドア開閉装置 ・重量シャッター		
, ,	① リカットシール材充填工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.2.6]	2 6748 4774 47	· 充填工法 [4.1.4][4.2.8][4.4.3][4.4.5]	2 見本の製作等	・特殊な建具の仮組(建具符号 :) [5.1.5]		
■打 放	充填材料 品質・規格等 備 考 ジーリング用材料 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタル充填	3 欠損部改修工法 (鉄筋爆裂補修含む)					
L H	ポリウレタン系シーリング材 ※行わない (*)行う ・可とう性エポキシ樹脂 JIA A 6024		・ポリマーセメントモルタル	3 アルミ製建具	外部に面する建具 [5.2.2] 表5.2.1] 種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工箇所		
上					· A種 S-4 ※A-3 ※W-4 ※70		
げが	シール工法パテ株エポキシ樹脂(JIS A 6024)				B種 S-5 A-3 W-4 · 70 · 100 · 図示 · C種 S-6 A-4 W-5 100		
壁	可とう性エポキシ樹脂(JIS A 6024)						工事名 松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事
②欠損部改修工法							図面名 特記仕様書 2
(鉄筋爆裂補修設							作成年月日 令和 7年 8月 日 変更年月日
I 1	10.73 - 2.21 - 2.27						縮尺 no scale 図面番号 A-03
					<u>'</u>		
3 浮き部改修工法	・ アンカービンニング部分エボキシ樹脂注入工法 (16本/㎡) [4.1.4] [4.3.11]						松戸市 街づくり部 建築保全課

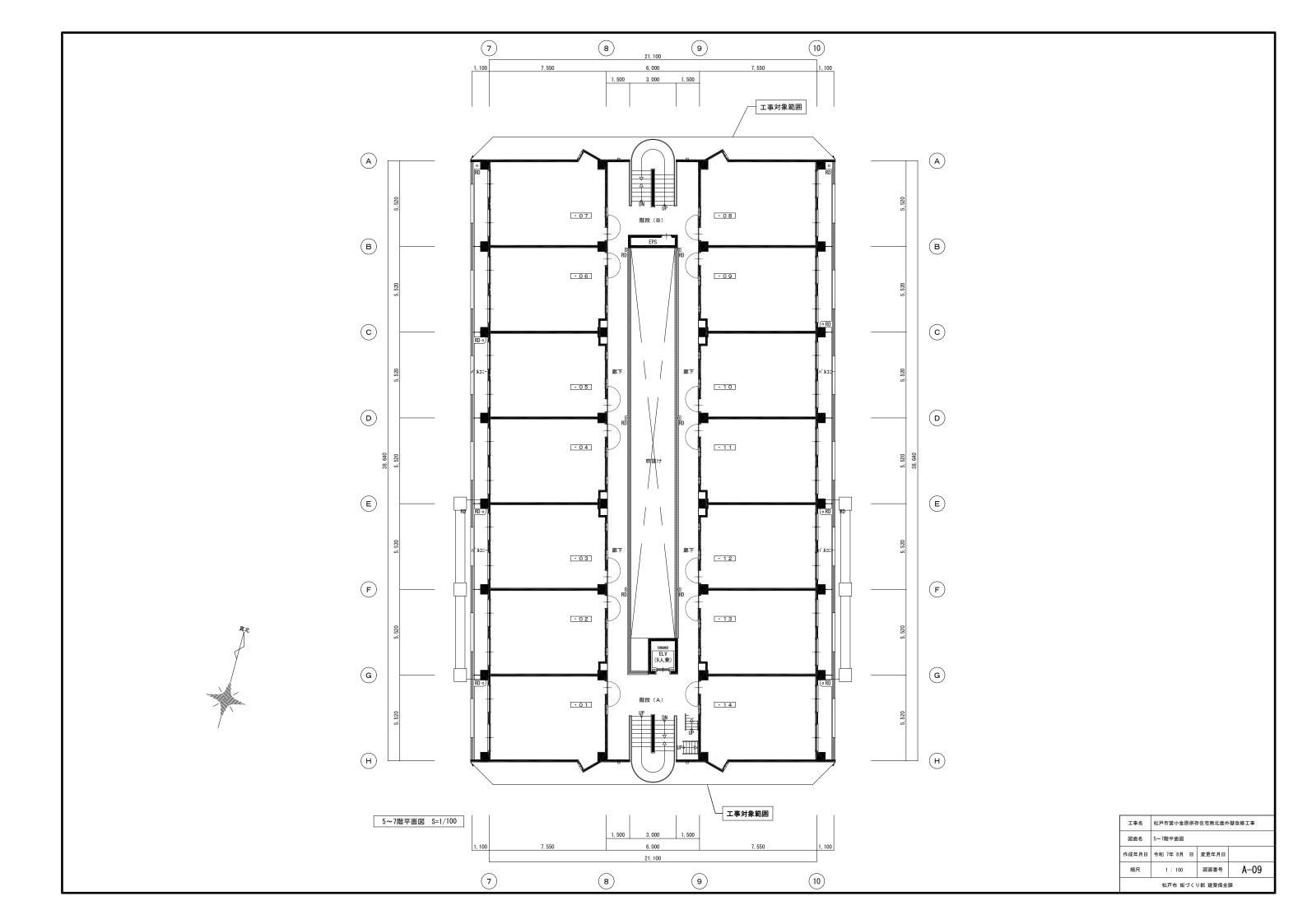
章 項目	特 記 事 項	項目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項
⑥ ①材料	塗膜は、耐久性、耐火性等に対する有害な欠陥がないこと。 [7.1.2~3] (3)) ①一般事項	アスペスト含有吹付け材の処理工事の方法 [9.1.3]	C M WE MICH M T TO	断熱材の種類 [9.2.2]		. Z.O.W
塗	屋内で使用する場合のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 改修部に石綿、鉛等の有害物質を含む材料が使用されていることが発見された場合は [7.1.8] 境		・封じ込め処理 ・囲い込み処理除去工法 ・除去工法 アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 ①図示	6 外断熱改修工事	材料名 厚さ(mm)		・ その他 快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、対象外とする。
改	監督職員と協議する。		分析によるアスベスト(アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト)含有の調査		・ビーズ法ポリスチレンフォーム ・押出法ポリスチレンフォーム ・硬質ウレタンフォーム ・フェノールフォーム		
修 工 (2)下地調整	[7. 2. 1~7] [表7. 2. 1~7]		・行う(下表による) (分行わない 対料名 調査方法 1材料あたりの試料数		・ロックウール・グラスウール		
*	下地面の種類 下地調整の種別 備 考 ク 木部 ・RA種 ※RB種 新規面はRA種				外装材の種類 [9.2.2]		
	木部 ・RA種 ※RB種 新規面はRA種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種				防火性能		
	亜鉛めっき鋼面 ・RA種 ※RB種 モルタル、プラスター面 ・RA種 ※RB種				既存外壁仕上材の撤去 ・有り ・無し [9.2.3]		
	コンクリート、ALC及び押出成形 ・RA種 ※RB種 改				下地面の清掃及び下地調整 ※断熱材製造所の指定する仕様		
	せっこうボード、その他ボード面 ・RA種 ※RB種 エ	2 アスベスト含有 吹付材除去工事	吹付アスベストの施工数量調査を行う。		通気層 ・有り(mm) ・なし [9.2.4]		
	既存下地面等のひび割れ部補修 [表7.2.5~6] 事 ※行う ・行わない		アスベスト粉塵濃度測定 ※行う		試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 特記無き事項は、製造所の仕様による。		
	※鋳止め JIS K 5674		測定時期及び場所等については下表による。				
3 合成樹脂調合	[7.5.2~4][表7.5.1~3]		測定時期 測定場所 測定点数 備 考 (各処理作業室毎)				
ペイント塗り(SOP)			処理作業前 処理作業室内 2又は3点 施工区画周辺又は敷地境界 2点 全工区共通				
	中塗り及び上塗りJIS K 5516		加工区画周辺スは敷型境界	7 屋上緑化改修工事	特記事項は図示 [9.4.1]		
	鉄鋼面 ・A種 ※B種 穴埋め及びパテかいJASS 18 M-110 中塗り及び上塗りJIS K 5516		セキュリティゾーン入口 1点 空気の流れを確認 負圧・除塵装置の排出口 1点 除塵装置の性能確認	8 透水性アスファルト	路盤材料 [9.5.4][表9.5.3]		
0.000			(処理作業室外の場合)	舗装改修工事	※再生クラッシャラン (RC-40) ・クラッシャラン (C-40) 又はクラッシャラン鉄鋼スラグ (CS-40)		
④耐候性塗料塗り(DP)	[7.8.2~4][表7.8.1~3] 下地の種類 上塗りの等級 新規塗りの種別 塗り替えの種別 備 考		施工区画開辺又は敷地境界 4方向各1点 処理作業後 処理作業室内 2点		透水性の高いものを使用する。		
	鉄鋼面 ○1級 ・2級 ※3級 ※A種 ・B種 ・A種 ※B種 JIS K 5659 亜鉛めっき面 ・1級 ・2級 ※3級 ※A種 ・B種 ・A種 ※B種 JIS K 5659		(隔離シート 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 搬去前)		フィルター層及び凍上抑制層の材料 [9.5.3]		
	コンクリート .145 - 245 ※245 - A3番 - R3番 ※C3番 - A3番 - R3番 ※C3番 IIS K 5650		(注)処理作業室の面積が50㎡以下の場合は2点、300㎡までは3点とする。300㎡を超えるような場合は、		・フィルター層 ※川砂、海砂又は良質な山砂 ・		
	押出成形セメント板面 「AMA CAMA MAR SIZE MARE DIE DIE MARE DIE DIE MARE DIE MARE DIE DIE MARE DIE DIE DIE DIE DIE DIE DIE DIE DIE DI		監督員と協議する。 処理作業室内の養生完了後、第二種電気工事士による電気設備等の取外しを行う。		厚さは図示 ・凍上抑制層 ※再生クラッシャラン ・クラッシャラン 切込み砂利 ・砂		
	コンクリート、押出成形セメント板面 下塗りJASS 18 M-201		建築技術審査証明書を受けている工法および同等と認められる工法とする。なお、飛散防止処理工法		厚さは図示		
5 つや有合成樹脂	[7. 9. 2~5] [表7. 9. 1~4]		の種別は除去処理工事である。		盛土に用いる材料 [9.5.3][表8.28.1] ・A種 ※B種 ・C種 ・D種		
エマルション ペイント塗り(EP-G)	新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗替えの種別 ・A種 ※B種		除去処理等によって生じた廃アスベスト等については特別産業廃棄物として適正に処理する。 アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。(専任)				
	下塗りJIS K 5663 中塗り及び上塗りJIS K 5660		石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の		路床安定処理 [9.5.3][表9.5.2]		
6 合成樹脂	[7. 10. 2] [表7. 10. 1]		有資格者とする。 廃アスベスト等適切に処理する為特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。(専任)		種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・高炉セメントB種		
エマルション ペイント塗り(EP)	新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 下塗り、中塗り及び上塗りJIS K 5663		アスベスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 更に、アスベスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。		・生石灰() 消石灰() 添加量 kg/m (目標CBR ※5以上 ・		
			関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課 ・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署		路床土の支持力比試験 ※行う(※乱した土 ・乱さない土) 路床締固め度の試験 ※行う		
7 ウレタン樹脂	[7.11.2][表7.11.1]		・労働女主例生法に関する油血 相労働基準監督者 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿障害				
ワニス塗り(UC)	・A種 ※B種		予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。		表層 アスファルト混合物 [9.5.6][表9.5.5~6]		
	1液形JASS 18 M-301 2液形JASS 18 M-502		軽鉄天井下地は、吊りボルトを使わないタイプ(核スタッド工法 65形線300)とし、既存天井面には		歩道部 ※ストレートアスファルト		
8 ステイン 塗り(ST)	[7. 12. 2] [表7. 12. 1] ワトコオイル製品同等品とする。	材囲い込み工事	触れない。 関係官公署に届出を行う。 ・大気汚染防止法に関する届出 松戸市環境保全課		透水性舗装 [9.5.9] 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う		
			・労働安全衛生法に関する届出 柏労働基準監督署 養生は作業範囲内壁面に垂直養生を行い、床面も水平養生を行う。		開程度アスファルト成占物の抽口試験 ※1177ない 177 表層の切取り試験 ※行わない ・行う		
9 木材保護塗料塗り (WP)	[7. 13. 2] [表7. 13. 1] ・A種 ※B種		アスベスト粉塵濃度測定は工事着工前と竣工時に行い、内部点を実施する。外部については、2点を 実施する。				
(1117)	JASS 18 M-307		—内部測定点内訳—	9 1 舗装工事	歩行者用通路コンクリート版の厚さ ※70mm ・ (22.5.3)(表22.5.1)		
			〈1階: 点、2階: 点、3階: 点〉 詳細納まり及び測定点については、監督職員と協議し決定すること。	₹	部 位 設計基準強度 所定のスランプ 粗骨材の最大寸法		
		4 アスベスト成形板等	処理を行うアスペスト成形板の仕様等 [9.1.5]	他	車以及75年車場 24 8 砂利の場合25又は40		
		の除去	材料名 厚さ (mm) 処理を行う範囲				
					歩行者用通路 18 8 砕石の場合20		
			施工調査 アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。		砂利敷き (22.9.2)(表22.9.1) 種別・A種 ・B種		
			調査結果は図面により記録し、監督職員に提出する。 (1)アスベスト成形板使用部位の確認。				
			(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認。	2 植栽工事	植樹 (23.3.2) 樹 種 寸 法 数 量 備 考		
V	『耐震補強工事構造特記仕様書』による。		(3)アスベスト成形板使用数量の確認。				
献		⑤ アスベスト含有外壁 仕上げ材の除去	アスペストの施工数量調査を行う。 [1.6.2]				
改版			アスペスト粉塵濃度測定 ※行う ①行わない	3 外構工事	・ メッシュフェンス 〇〇㈱ 〇〇 同等品とする。		
ISS			測定時期及び場所等については下表による。		・目隠しフェンス 〇〇㈱ 〇〇 同等品とする。		
#			測定時期 測定場所 測定点数 備 考 (各処理工区毎)	4 下足入れ	. ○○地 ○○ 同第早上オュ		
			処理作業前 施工区画局辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通 処理作業中 施工区画局辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通	サイル人和	〇〇㈱ 〇〇 同等品とする。		
			型理作業後 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 全工区共通	5 快適トイレの試行	・ 現場に以下の(1)~(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。		
			アスベスト含有外壁仕上げ材除去作業の方法 ()部分除去(図示) ()全面除去(図示)		(12)~(17)については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、 必須ではない。		
					(1)洋式便器		
			アスベスト含有外壁仕上げ材部分除去作業 (1)部分除去箇所について監督職員と打合せの上、施工範囲を決めること。		(2)水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む) (3)臭い逆流防止機能		
			(2)建設技術審査証明書をうけている工法及び同等と認められる工法とする。 (参考工法:湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法(㈱マルホウ ウォーターウリーンSG工法))		(4) 容易に開かない施錠機能 (5) 照明設備		
			(3)除去処理等によって生じた廃アスベスト等については石綿含有廃棄物、または、特別産業廃棄物		(6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等 (耐荷重を5kg以上とする) (7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示		
			として適正に処理する。 (4)アスベスト除去処理工事を適切に行う為、石綿作業主任者を配置する。		(8)入口の目隠しの設置 (男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等)		
			石綿作業主任者は石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業 主任者技能講習修了者とする。		(9) サニタリーボックス (女性用トイレに必ず設置) (10) 鏡と手洗器		
			(5) 廃アスベスト等を適切に処理する為、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置 する。(適宜)		(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品 (12) 室内寸法900mmx900mm以上 (面積ではない)		
			(6) アスペスト粉塵濃度測定を行う機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。 また、アスペスト粉塵濃度測定における計数分析は作業環境測定士によるものとする。		(13) 擬音装置 (機能を含む) (14) 着替え台		
			(7)関係官公署に届出を行う。		(15) 臭気対策機能の多重化		
			(大気汚染防止法: 松戸市環境保全課、労働安全衛生法: 柏労働基準監督署) (8) 本工事において大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、石綿		(16)室内温度の調整が可能な設備 (17)小物置き場 (トイレットペーパー予備置き場等)		
			障害予防規則等、石綿処理に関する諸法令を遵守すること。		・快適トイレに要する費用		工事名 松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事
					快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。 受注者は、上記1を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細		図面名 特記仕様書3
					について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。		
					(1)~(11)の費用については、10,000円/基・月(従来品相当)を差し引いた後、 51,000円/基・月を上限に設計変更の対象とする。		作成年月日 令和 7年 8月 日 変更年月日
					なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ、2基までとする。 また、運搬・設置費は共通仮設費(率)に含むものとし、2基より多く設置する場合や積算上限額		縮尺 no scale 図面番号 A-04
					を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。		松戸市 街づくり部 建築保全課

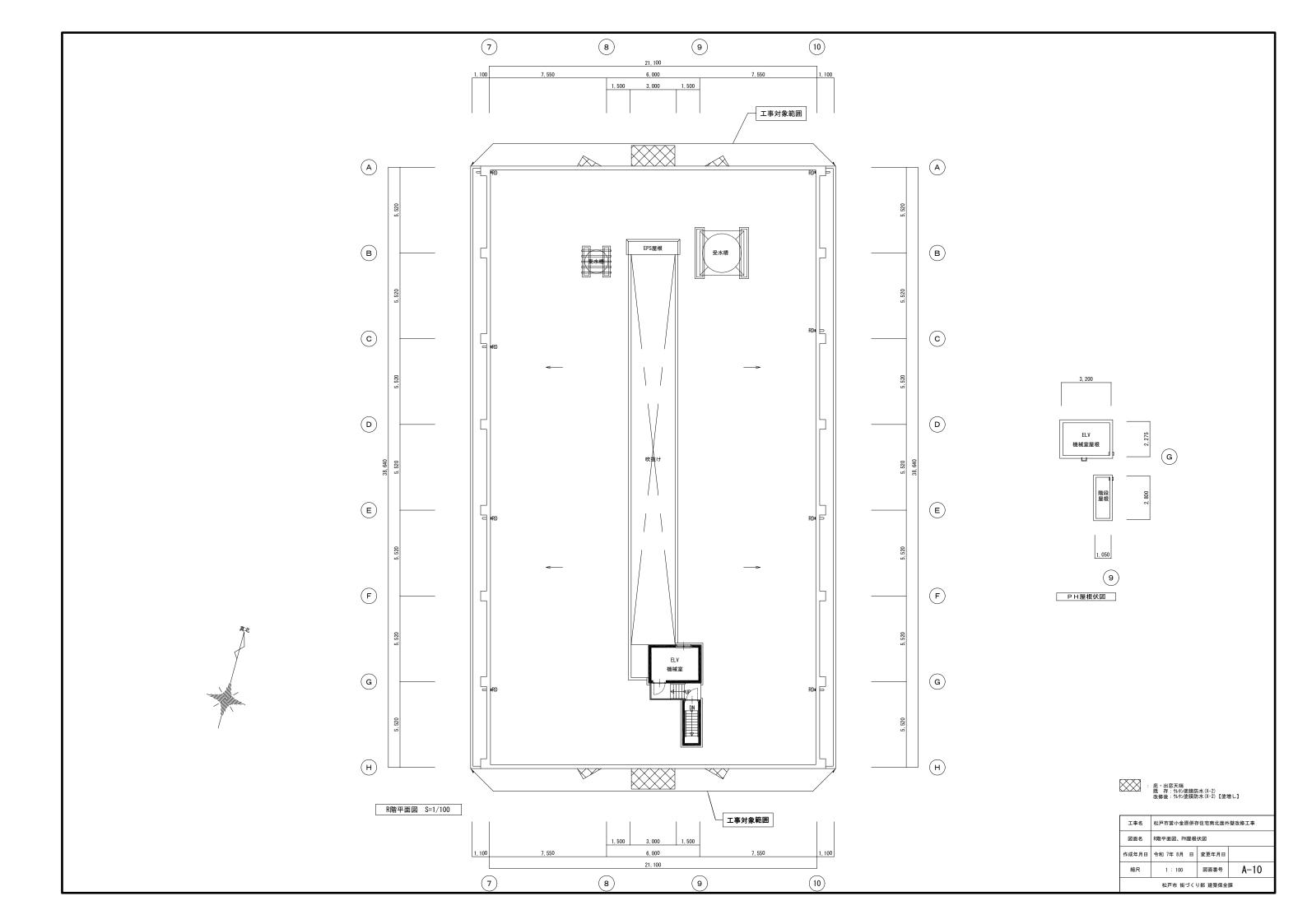


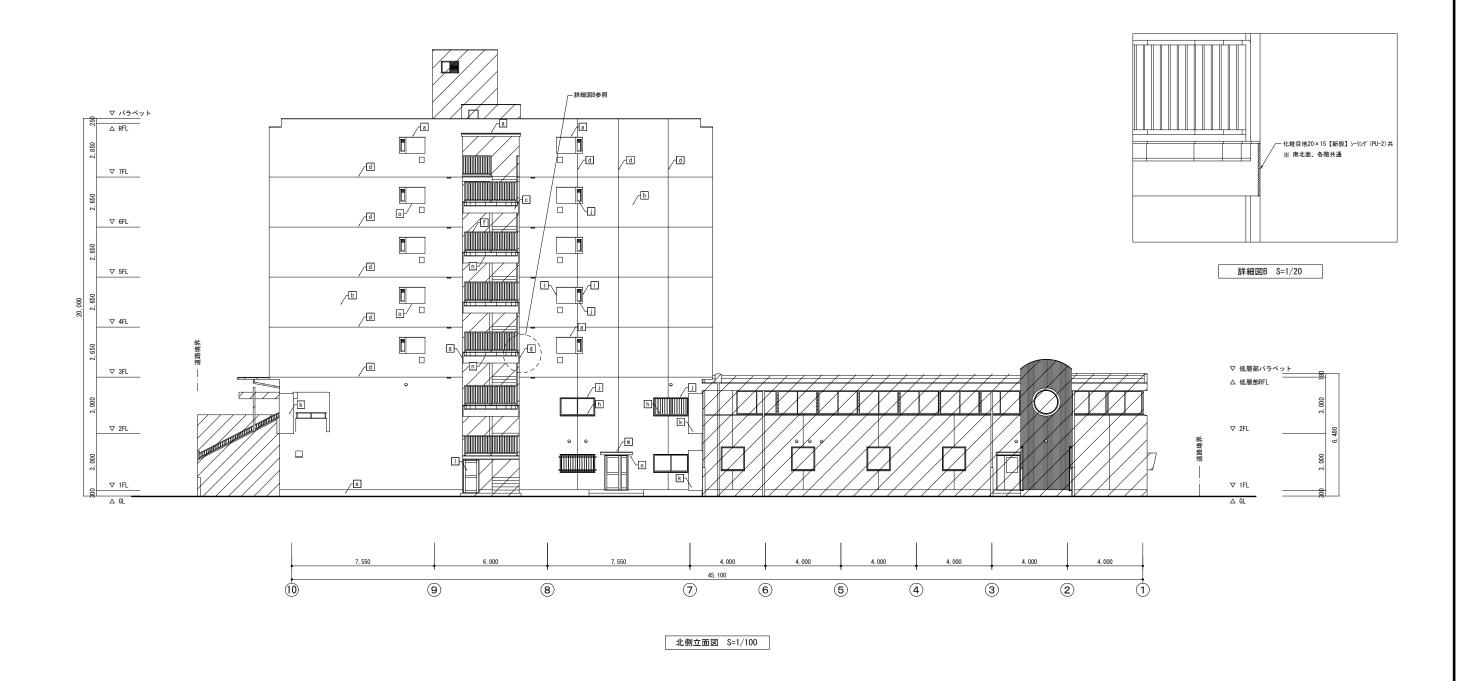








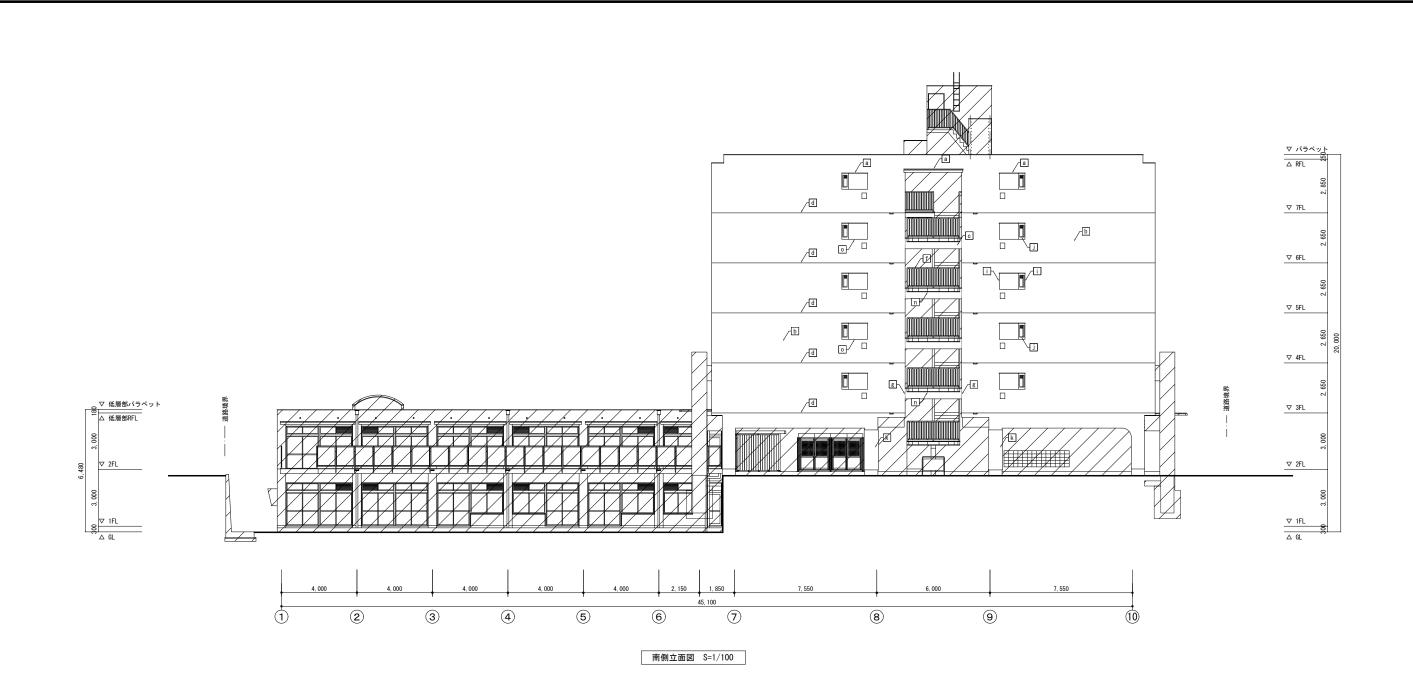




应,出來 1	既 存	ウレタン塗膜防水 (X-2) 【既存のまま】	f	がいませ	既存	スチールパイプ OP塗装【既存のまま】	k	柱補強材	既存	DP塗装 [既存のまま]
庇·血患!	改修後	ウレタン塗膜防水 (X-2) 【塗替え】		外陷权于拍	改修後	DP塗装【新設】	, a	(鋼板)	改修後	DP塗装【塗替え】
M E¢	既存	コンクリート打放し + フジュート (旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材E (既存塗膜) 【撤去】	g	化粧日抽 1	既存	-	_	71.7	既存	_
外至	改修後	防水形複層塗材E【新設】	6	10和日地(改修後	カッター入れ+シーリングPU-2 20×15【新設】	·	/ N > 19F	改修後	クリーニング
++ . SP-FII	既存	コンクリート打放し+フジュート(旧塗膜)【撤去】+可とう形改修塗材E(既存塗膜)【撤去】	h	#e_12 = →	既存	がラスシール【撤去】	m	ர். புண்	既存	防水モルケル仕上げ【既存のまま】
在・米至	改修後	防水形複層塗材E【新設】	"	あカラス	改修後	SR-1【新設】が ラス、サッシ、面格子クリーニング共		此。田志之	改修後	ウレキン塗膜防水 (X-2) 【新設】
+T 44 FI +44	既存	シーリング30×15【撤去】		化粧日抽 0	既存	-	n	#I W 1	既存	コンクリート打ち放し+AEP吹付(旧塗膜) [撤去(※)] +水性反応硬化形軒天用仕上塗材(既存塗膜) [撤去(※)] ※ 劣化部分のみ
打账日地	改修後	シーリングPU-2 30×15【新設】	,	10桩日地2	改修後	カッター入れ+シーリングPU-2 20×15【新設】	"	軒表!	改修後	水性反応硬化形軒天用仕上塗材【塗替え】
# th #	既存	コンクリート打ち放し+ボ リマーセメント系基礎巾木用塗材【既存のまま】		本日 福 L L	既存	シーリング15×10【搬去】	0	****	既存	コンクリート打放し+フジコート(旧塗膜)【撤去】+可とう形改修塗材E(既存塗膜)【撤去】
አየባነ ት	改修後	ボリマーセメント系基礎巾木用塗材【塗替え】	Í	建具廻り	改修後	シーリング15×10 仕上げあり: PU-2 仕上げなし: MS-2 [新設]	Ů	+1表2	改修後	防水形複層塗材E【新設】
	底・出窓1 ・	庇・出窓1 改修後 が修後 既存 改修後 既存 社・梁型 改修後 打継目地 改修後 が修後 既存 が修後 既存 が修後 既存	ボ・出窓 1	ボ・出窓 1	底・出窓1 改修後 かりン塗膜防水 (X-2) 【塗替え】 f 外階段手摺 外壁 既存 コンクリート打放しーアジュート (旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材E (既存塗膜) 【撤去】 a 化粧目地 1 柱・梁型 既存 コンクリート打放しーアジュート (旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材E (既存塗膜) 【撤去】 h 窓ガラス 放修後 防水形複層塗材E 【新設】 窓ガラス 打継目地 既存 シーリング 30×15 【撤去】 i 化粧目地 2 外巾木 既存 コンクリート打ち放しーボ リマーセント系基礎巾木用塗材【既存のまま】 j 建具週り	庇・出窓1 改修後 かり塗膜防水 (X-2) 【塗替え】	底・出窓1 改修後 小り空展防水 (バー2) 【塗替え】 「 外階段手摺 改修後 DP塗装 [新設] 外壁 既存 コンリート打放しーアジョート(旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材E(既存塗膜) 【撤去】	底・出窓1 改修後 小り全膜防水 (X-2) 【塗替え】 水脂段手摺 改修後 DP塗装 【新設】 人名 人名	底・出窓1 改修後 分か全膜防水 (X-2) 【塗替え】 よ 大柱補強材 (銀板) 外壁 既存 2000年後 防水形複層塗材E [新設] 版 存 コンケリート打放し + フジュート (旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材E (既存塗膜) 【撤去】 と (松粧目地1) 既存 コンケリート打放し + フジュート (旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材E (既存塗膜) 【撤去】	底・出窓1 改修後 小りン塗膜防水 (X-2) 【塗替え】 水酸後 小腹段手摺 改修後 DP塗装【新設】 本株 (銅板) 本株 (野藤 (銀板)) 株 (新 (利 (利 (和

:工事対象外を示す

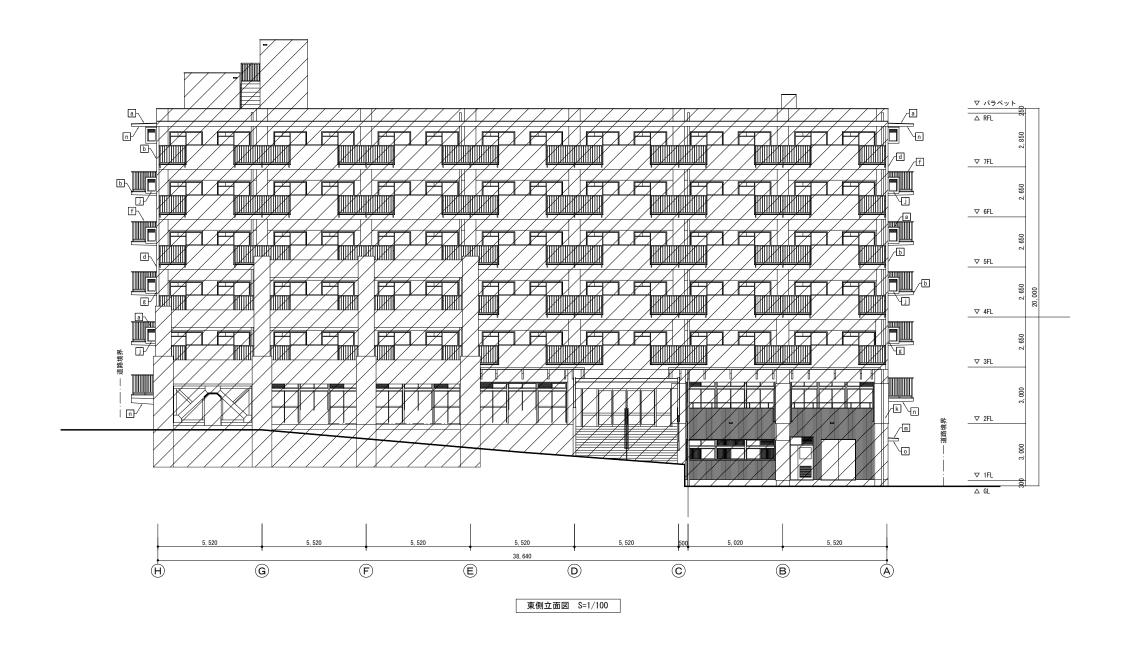
工事名	松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事										
図面名	北側立面図										
作成年月日	令和 7年 8月 日 変更年月日										
縮尺	1 : 100 1 : 20										
松戸市 街づくり部 建築保全課											



	N. dr. W.	改修後	が リマーセメント系基礎巾木用塗材【塗替え】	· XA	XE 7	改修後	シーリング 15×10 仕上げあり: PU-2 仕上げなし: MS-2 【新設】	°	+140.4	改修後	防水形複層塗材E【新設】
e	外巾木	既 存	コンクリート打ち放し+ボリマーセタント系基礎巾木用塗材【既存のまま】	j 建具	700 LI	既 存	シーリング 15×10 [撤去]	0	軒裏 2	既存	コンクリート打放し+7ジコート(旧塗膜)【撤去】+可とう形改修塗材E(既存塗膜)【撤去】
u u	打靴日地	改修後	シーリングPU-2 30×15【新設】	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	日地名 -	改修後	カッター入れ + シーリング PU-2 20×15【新設】	"	軒表	改修後	水性反応硬化形軒天用仕上塗材【塗替え】
d	打継目地 -	既 存	シーリング 30×15【撤去】	i 化粧目	= #h 0	既 存	-	n	軒裏 1	既存	コンクリート打ち放し+AEP吹付(旧塗膜)【搬去(※)】 +水性反応硬化形軒天用仕上塗材(既存塗膜)【搬去(※)】 ※ 劣化部分のみ
	在 第至	改修後	防水形複層塗材E【新設】	h 窓ガ	74	改修後	SR-1 [新設] ガラス、サッシ、面格子クリーニング共	"	此・田窓と	改修後	ウレキン塗膜防水 (X-2) 【新設】
	柱・梁型	既 存	コンクリート打放し+フジコート(旧塗膜)【撤去】+可とう形改修塗材E(既存塗膜)【撤去】	h meur		既 存	が「ラスシール【搬去】	m	庇・出窓2	既存	防水砂炉仕上げ【既存のまま】
	AL面	改修後	防水形複層塗材E【新設】	9 16租1	D 46	改修後	カッケー入れ + シ-リング PU-2 20×15【新設】	'	/ W > FBF	改修後	クリーニング
h	外壁	既 存	コンクリート打放し+フジコート(旧塗膜)【撤去】+可とう形改修塗材E(既存塗膜)【撤去】	g 化粧目	FI + 1 .	既 存	_		7//:扉	既存	_
)庇・山志 ! -	改修後	ウレタン塗膜防水 (X-2) 【塗替え】	7 7 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	文子拍 一	改修後	DP塗装【新設】		(鋼板)	改修後	DP塗装【塗替え】
	庇・出窓1 -	既 存	ウレタン塗膜防水(X-2) 【既存のまま】	f 外階段	n ± +m	既 存	スチールバイプ OP塗装【既存のまま】	k	柱補強材	既存	DP塗装【既存のまま】

:工事対象外を示す

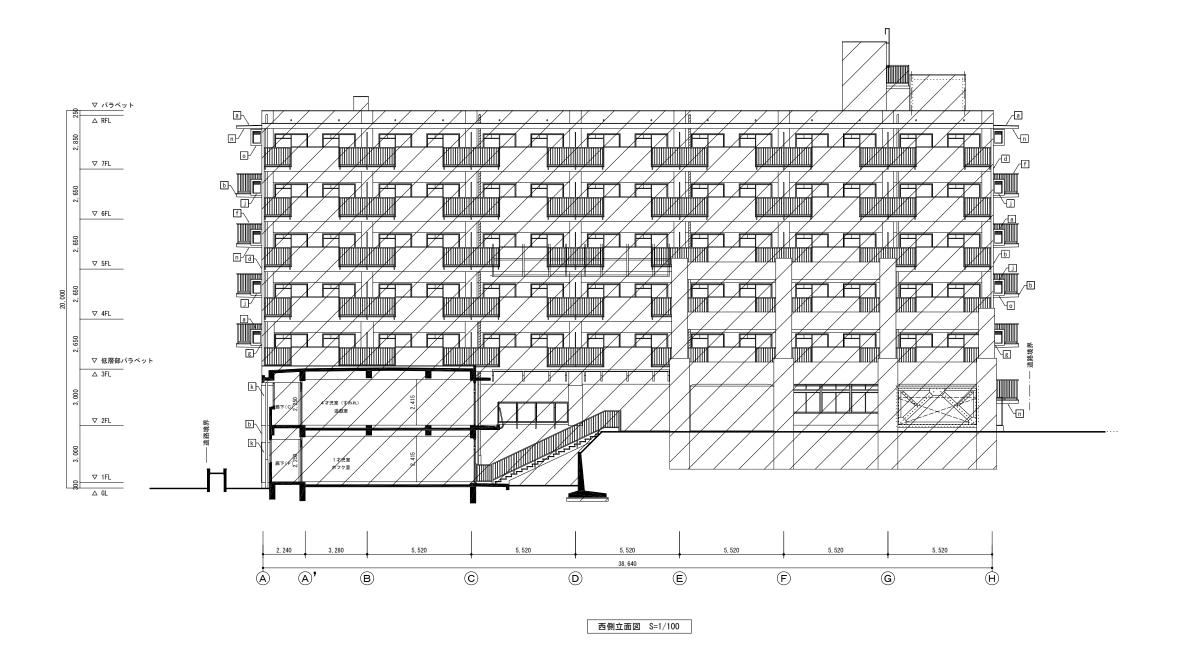
工事名	松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事										
図面名	南側立面図										
作成年月日	令和 7年 8月 日 変更年月日										
縮尺	1 : 100	1:100 図面番号 A-12									
松戸市 街づくり部 建築保全課											



	庇・出窓1 -	既 存	ηυλν塗膜防水 (X-2) 【既存のまま】	f	f 外階段手摺		スチールパイプ 0P塗装【既存のまま】	k	柱補強材	既 存	DP塗装【既存のまま】
u u	- 111,61		ウレタン塗膜防水 (X-2) 【塗替え】	.	71階段于指		DP塗装【新設】	K	(鋼板)	改修後	DP塗装【塗替え】
h	外壁	既 存	コンクリート打放し+7ジコート(旧塗膜) 【撤去】+可とう形改修塗材E(既存塗膜) 【撤去】	g	g 化粧目地 1	既存	-		7ルミ扉	既 存	_
	り 外壁	改修後	防水形複層塗材E【新設】			改修後	カッター入れ+シーリングPU-2 20×15【新設】	'	11/1/191-	改修後	クリーニンヴ
c	柱・梁型 -	既 存	コンクリート打放し+7ジコート(旧塗膜)【撤去】+可とう形改修塗材E(既存塗膜)【撤去】	h	窓ガラス	既存	ガラスシール[撤去]	m	庇・出窓2	既 存	防水モルタル仕上げ【既存のまま】
	在:朱至	改修後	防水形複層塗材E【新設】		急ガラス	改修後	SR-1【新設】がラス、サッシ、面格子ケリーニング・共		底•山悬2	改修後	ウレキン塗膜防水 (X-2) 【新設】
d	打継目地 -	既 存	シーリング 30×15 【撤去】		化粧目地 2	既存	-	n	軒裏 1	既 存	コンクリート打ち放し+AEP吹付(旧塗膜)【撤去(※)】 +水性反応硬化形軒天用仕上塗材(既存塗膜)【撤去(※)】 ※ 劣化部分のみ
u u	打器日地	改修後	シーリング PU-2 30×15 【新設】	·	10桩日地2	改修後	カッター入れ+シーリングPU-2 20×15【新設】	"	¥Tæ, I	改修後	水性反応硬化形軒天用仕上塗材【塗替え】
	外巾木	既 存	コンクリート打ち放し+ボリマーセイント系基礎巾木用塗材【既存のまま】	i	24-8-25(1)	既存	シーリング15×10【撤去】	0	軒裏2	既 存	コンウリート打放し+フジコート(旧塗膜)【撤去】+可とう形改修塗材E(既存塗膜)【撤去】
5 At 1	ALIII.W	改修後	ボリマーセタント系基礎巾木用塗材【塗替え】		」 建具廻り ├		シーリング 15×10 仕上げあり: PU-2 仕上げなし: MS-2 【新設】]	軒表2	改修後	防水形複層塗材E【新設】

: 工事対象外を示す
:工事対象外を示す

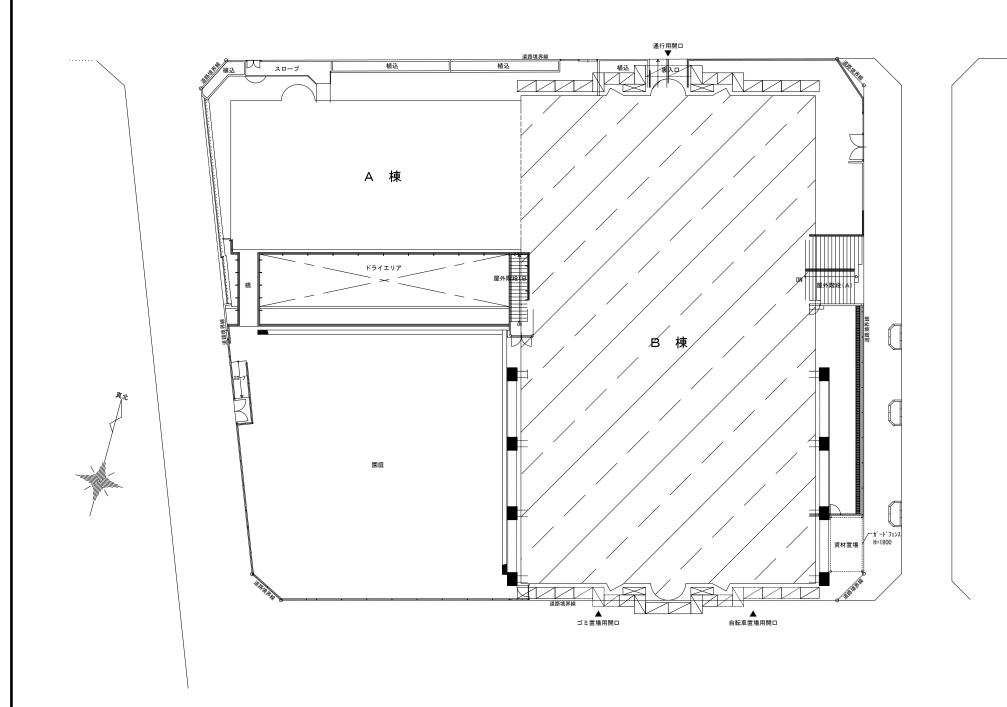
工事名	松戸市営小金原併存	松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事						
図面名	東側立面図							
作成年月日	令和 7年 8月 日	変更年月日						
縮尺	1 : 100	図面番号	A-13					
	松戸市 街づくり	J部 建築保全	課					



应。山农1	既 存	ウレタン塗膜防水 (X-2) 【既存のまま】	f	がいませ	既存	スチールパイプ OP塗装【既存のまま】	k	柱補強材	既存	DP塗装【既存のまま】
此"四處1	改修後	ウレタン塗膜防水 (X-2) 【塗替え】	.	2LMEAX T. III	改修後	DP塗装【新設】		(鋼板)	改修後	DP塗装【塗替え】
M E¢	既 存	コンウリート打放し+フジュート(旧塗膜)【撤去】+可とう形改修塗材E(既存塗膜)【撤去】	g	化粧日抽 1	既存	-	_	1 7於扉	既存	_
75至	改修後	防水形複層塗材E【新設】	8	10和日地(改修後	カッター入れ+シーリングPU-2 20×15【新設】	'		改修後	クリーニング
	コンウリート打放し+フジコート(旧塗膜)【撤去】+可とう形改修塗材E(既存塗膜)【撤去】	h	** ±* = →	既存	がラスシール【撤去】	m	# U#0	既存	防水砂炉仕上げ【既存のまま】	
在・米至	改修後	防水形複層塗材E【新設】	"	おカラス	改修後	SR-1【新設】が「ラス、サッラ、面格子クリーニング共		此・山忠之	改修後	ウレチン塗膜防水 (X-2) 【新設】
打器日垫	既 存	シーリング 30×15 【撤去】		化粧日抽 0	既存	-	n	#I W 1	既存	コンクリート打ち放し+AEP吹付(旧塗膜)【撤去(※)】 +水性反応硬化形軒天用仕上塗材(既存塗膜)【撤去(※)】 ※ 劣化部分のみ
打胜日地	改修後	シーリング PU-2 30×15【新設】	'	10桩日地2	改修後	カッター入れ+シーリングPU-2 20×15【新設】	"	軒夜!	改修後	水性反応硬化形軒天用仕上塗材【塗替え】
#s that	既 存	コンクリート打ち放し+ボリマーセメント系基礎巾木用塗材【既存のまま】	i	本日 福 L L	既存	シーリング15×10【搬去】	0	紅車?	既存	コンクリート打放し+7ジコート(旧塗膜)【撤去】+可とう形改修塗材E(既存塗膜)【撤去】
31,111	改修後	ボリマーセメント系基礎巾木用塗材【塗替え】	Í	」 建具廻り 一		シーリング15×10 仕上げあり: PU-2 仕上げなし: MS-2 [新設]		+1表2	改修後	防水形複層塗材E【新設】
	底・出窓 1 外壁 柱・梁型 打継目地 外巾木	庇・出窓1 改修後 外壁 既 存 改修後 既 存 枝・梁型 既 存 力継目地 既 存 水巾木 既 存	応・出窓 1	庇・出窓 1 改修後 かり少途顧防水 (X-2) 【塗替え】 外壁 既存 コンクリート打放し + フップ・コート (旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材 E (既存塗膜) 【撤去】 柱・梁型 既存 コンクリート打放し + フップ・コート (旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材 E (既存塗膜) 【撤去】 打練目地 既存 アーリング・30×15 【撤去】 が中本 かり少り、アリー2 30×15 【新設】 外巾木 既存 コンクリート打ち放し + ボーリマーセメント系基礎巾木用塗材 【既存のまま】	庇・出窓1 改修後 かりつト打放し+アゾコト(旧塗膜) [撤去] + 可とう形改修塗材E(既存塗膜) [撤去] 外壁 既存 コンクリート打放し+アゾコト(旧塗膜) [撤去] + 可とう形改修塗材E(既存塗膜) [撤去] 柱・梁型 既存 コンクリート打放し+アゾコト(旧塗膜) [撤去] + 可とう形改修塗材E(既存塗膜) [撤去] 財継目地 野水形核層塗材E [新設] が中本 次修後 シーリング PU-2 30×15 [撤去] が中本 サーリング PU-2 30×15 [新設] が中本	底・出窓1 改修後 かり少塗膜防水 (X-2) 【塗替え】 「 外階段手摺 水修後 外壁 既存 コンクリート打放しーカジュート(旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材E (既存塗膜) 【撤去】 成修後 版存 コンクリート打放しーカジュート(旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材E (既存塗膜) 【撤去】 版 存 コンクリート打放しーカジュート(旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材E (既存塗膜) 【撤去】 版 疾存 次・リック 30×15 【撤去】 成修後 (化粧目地2) 成修後 外巾本 株職日地 成修後 小リック 70-2 30×15 【新設】 成修後 大ーリック 70-2 30×15 【新設】 成修後 外巾本 水巾本 は軽量週り 既存 立ングリート打ち放しーボッマーセント系基礎巾本用塗材 【既存のまま】 より、企業のより	庇・出窓1 改修後 かわう塗膜防水 (X-2) [塗替え] す 外階段手摺 改修後 DP塗装 [新設] 外壁 既存 コンクリート打放しーアジ・コト (旧塗膜) [撤去] + 可とう形改修塗材E (既存塗膜) [撤去] 度	底・出窓1 改修後 かり沙窪販防水 (X-2) 【塗替え】 「 外階段手間	 底・出窓1 改修後 かりを譲防水 (X-2) 【塗替え】 財 存 コンリート打放し+フジュート(旧塗膜) 【撤去】 + 可とう形改修塗材に(既存塗膜) 【撤去】 直	底・出窓1 改修後 介が少塗膜防水 (X-2) [塗替え] 「 外階段手摺 改修後 DP塗装 [新設] 本 大 注補効材 (製板) 所 存 20/91-ド打放 L + 73/2 = ト (旧塗膜) [撤去] + 可とう形改修塗材E (既存塗膜) [撤去] 度 低粧目地1 既 存

:工事対象外を示す

工事名	松戸市営小金原併	存住宅南北面外	▶壁改修工事			
図面名	西側立面図					
作成年月日	令和 7年 8月 日	変更年月日				
縮尺	1 : 100	図面番号	A-14			
	松戸市 街づく	リ部 建築保全	課			



: 工事対象建物を示す。

:足場 W=900 (手すり先行枠組本足場)



: プラケット足場 W=600 (手すり先行枠組本足場)

⊙------ : ガ-ドフェンス H=1800

・足場地上部は金網式養生(鍵付き)等で侵入防止対策を図ること。

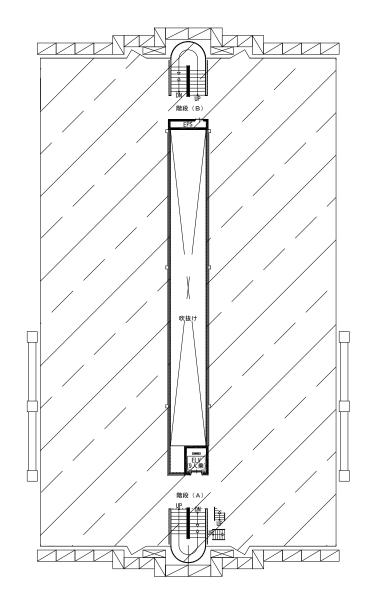
・敷地内における動線上部で作業が生じる箇所については落下物対策を講じること。

・歩行者等の第三者の安全確保を図ること。

なお、資機材等の搬出入時は、交通誘導員等を配置すること。

仮設計画図 1 S=1/150

设計画図 1		
和 7年 8月 日	変更年月日	
1 : 150	図面番号	A-15
	和 7年 8月 日	和 7年 8月 日 変更年月日





:工事対象建物を示す。



: 足場 W=900 (手すり先行枠組本足場)



: プラケット足場 W=600 (手すり先行枠組本足場)

- ・足場地上部は金網式養生(鍵付き)等で侵入防止対策を図ること。
- ・敷地内における動線上部で作業が生じる箇所については落下物対策を講じること。
- ・歩行者等の第三者の安全確保を図ること。

なお、資機材等の搬出入時は、交通誘導員等を配置すること。

仮設計画図2 S=1/150

工事名	松戸市営小金原併存	松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事						
図面名	仮設計画図 2							
作成年月日	令和 7年 8月 日	変更年月日						
縮尺	1 : 150	図面番号	A-16					
松戸市 街づくり部 建築保全課								

《 松戸市建築工事提出書類等一覧表 》 (2025.7)

- 1. 工事名称 松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事
- 2. 工事場所 松戸市小金原四丁目6番地
- 3. 工 期 令和 7年 月 日 から 令和 8年 3月13日 まで
- **4. CADデータの貸与** ■有 □無
- ※1. 基準等にある「建」とは「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版」を指す。
- ※2. 基準等にある「電」とは「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和7年版」を指す。
- ※3. 基準等にある「機」とは「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和7年版」を指す。
- ※4. 基準等にある「請負契約○○条」は「工事請負契約書」を指す。

					提出責任者
	按	+¥ -1	立7 米七	甘淮华	※記入無は
	摘 要	様式	部数	基準等	
					現場代理人
エ	■工事実績情報(工事カルテ)の登録	報告	1	建1.1.4	
	(受注登録工事カルテ受領書、受注登録データ)			電1.1.4	
事	※契約額が500万円以上(契約後10日以内に登録)			機1.1.4	
				松戸市建設工事	
着				適正化指導要綱	
	【契約後14日以内】				
エ	25 33 25 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3				
-	 □電気保安技術者通知書	承諾	1	建1.3.3	
عد ا	「資格者証の写し)	/十/四	'	電1.3.2	
前	【契約後14日以内】			機1.3.2	
	【关约校14口以内】			1/2, 1 . 3 . 2	
に		+0 4			//\
	■施工体制台帳・下請業者選定通知書・施工体系図	報告	2	請負契約第7条	代表者
提	【下請契約後14日以内に提出(下請契約がない場合不要)】			建1.1.5	
				電1.1.5	
出				機1.1.5	
ΙЩ				松戸市建設工事	
				適正化指導要綱	
	- + 16 - 10 +	→ -#	_	74	
	■実施工程表	承諾	1	建1.2.1	
	※建築・電気・機械などの関連工事工程も記載			電1.2.1	
	【初回打合せ後速やかに】			機1.2.1	
	■総合施工計画書	報告	1	建1.2.2	
	1.組織表(現場代理人、主任技術者、工事用電			電1.2.2	
	力設備の保安責任者など)、緊急連絡体制、			機1.2.2	
	仮設計画図				
	2. 工事概要、建物概要、予想される災害・公害				
	対策、出入口の管理、危険箇所の点検方法、				
	官公署その他の関係機関への届出等一覧表				
	など				
	【初回打合せ後速やかに】				
L					
•				•	

勝 要 様式 部数 基準等						10.1. + 1-1
正 ■設計図書の照査報告書 [適宜] 報告 1 現典の第19条 (代表者 事 申 中 機が高質証明書などを添付 使用材料・機材品質証明書などを添付 2 電1.2.2 機1.2.2 機材品質証明書などを添付 2 電1.2.2 機1.2.2 機材品質証明書などを添付 2 電1.2.3 電1.2.3 機材品質証明書などを添付 2 単1.2.3 電1.2.3 機1.2.2 機1.2.2 機1.2.2 機1.2.2 機1.2.3 電1.2.3 機1.2.3 機1.2.2 機1.2.3 反列等性性点 2 計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 (廃棄物機出前) □戸報(出來高・進捗表) 【月初め7日以内】 □定例打合せ記録 [適宜] 報告 1 建1.2.1 電1.2.1 電1.3.9 機1.3.9 機2.3 単2.3 単2.3 単2.3 単2.3 単2.3 単2.3 単2.3 単		摘 要	様式	部数	基準等	
□ 工権別施工計画書 □ 工権別施工計画書 □ 大き 資格者証、使用資機材、使用材料・機材品質証明書などを添付 □ 大き 「大き で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	-	■設計図書の昭本報生書	超生	1	計負契約第19条 計算契約第19条	
事 中 中 ・			TIX LLI	'		1026
■ 工種別施工計画書 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・機材品質証明書などを添付 に ■施工図等(施工図、製作図、カタログ等) ※施工図、製作図にも任・現場が全ての図面に記名 一種・ 製作図には主任・現場が全ての図面に記名 一種・ 製作図にま任・現場が全ての図面に記名 一種・ 製作図にま任・現場が全ての図面に記名 一種・ 製作図にま任・現場が全ての図面に記名 一種・ 製作図にま任・現場が全ての図面に記名 一般・ 製作図にまた。 製作図にはまた。 製作図に関係にはまた。 製作図に関係に関係に対しては、 製作の関係に対しては、 製作の関係に対し、 製作の関係に対しては、 製作の関係に対し、 製作の関係に対しては、 製作の関係に対しては、 製作の関係に対し、 製作の関係に対し、 製作の関係に対し、 製作の関係に対し、 製作の関係に対し、 製作の、 製作の、 製作の、 製作の、 製作の、 製作の、 製作の、 製作の	車	(CII)				
中 ※資格者名簿・資格者証、使用資機材、使用材料・機材品質証明書などを添付 機1.2.2 機1.2.3 電1.2.2 機1.2.3 電1.2.3 電1.2.3 機1.2.3 電1.2.3 機1.2.3 電1.3.9 産廃業者の約可書の写し (単価記載) 産廃業者の約可書の写し (単価記載) 産廃業者の約可書の写し (廃棄物搬出前] □月報 (出来高・進捗表) 【月初め7日以内】 □定例打合せ記録 【適宜】 報告 1 建1.2.1 電1.2.1 電1.3.11 電1.3.9 機1.3.9 単計組工程表 (既製コグリート杭等) 工事結果報告書 報告 1 建1.5.4 差(長禄南春及切場承代理人 規1.4.5 電1.4.5 機1.5.5 電1.5.6 電1.4.5 機1.5.5 機1.5.5 機1.5.5 機1.3.11 電1.3.9 機1.3.9	7	■丁種別施丁計画書	承諾	1	建1.2.2	
機材品質証明書などを添付 一方	l _{th}		13.64			及び現場代理人
正 一 施工図等(施工図、製作図、カタログ等) ※施工図、製作図は主任・現場が全での図面に記名 1 連1.2.3 電1.2.3 機1.2.3 機1.3.9 極1.2.1 電1.2.1 電1.3.1 電1.3.1 電1.3.5 電1.5.4 電1.5.5 電1.5.4 電1.5.5 電1.5.5 電1.5.5 電1.5.5 電1.5.5 電1.5.5 電1.5.5 電1.3.9 機1.3.9 電1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 電1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 世報告書 電1.3	T					
#施工図等(施工図、製作図、大タログ等) ※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名	1-					
提出 一般	اد	■施工図等(施工図、製作図、カタログ等)	承諾	1	建1.2.3	
出 ■発生材処理計画書	担	※施工図、製作図は主任・現場が全ての図面に記名			電1.2.3	及び現場代理人
●元王 **]Æ				機1.2.3	
●元王 **	ф					
産廃業者の許可書の写し 再資源利用 (促進) 計画書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物線出前】	Щ		報告	1	. —	
再資源利用(促進)計画書 連該副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上 【廃棄物搬出前】 □月報(出来高・進捗表) □定例打合せ記録 【適宜】 ■詳細工程表(月間工程表) ※年末年始・GW・夏季等については、安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】 □地業(既製コンツリー・杭等)工事結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■発生 オ処理報告書 ■発生 オ処理報告書 ■発生 オ処理報告書 ■発生 オ処理報告書 ■発生 オペル理報告書 ■発生 オペルで表して、「展別、再資源利用(促進)実施書 連設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1出来高検査 1出来る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					_	
 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 ※登録は契約額が100万円以上					機1.3.9	
※登録は契約額が100万円以上						
【廃棄物搬出前】 □月報(出来高・進捗表) 【月初め7日以内】 □定例打合せ記録 【適宜】 ■詳細工程表(月間工程表) ※年末年始・GW・夏季等については、安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載【前月末日まで】 □地業(既製コンクリート杭等)工事結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■発生材処理報告書 ・ 報告 1 建1.5.4 上任技術者及び現場代理人機1.4.5 電1.5.6 電1.4.5 機1.5.5 でま1.4.4.5 機1.5.5 でま1.4.4.5 機1.5.5 でま1.5.4 機1.5.5 でま1.4.5 機1.5.5 でま1.4.5 機1.5.5 でま1.4.5 機1.5.5 では、4.5 機1.3.11 電1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 機1.3.9 場外に配換を適願 2出来高検査願 2出来高検査願 2出来高検査所 2出来高検査所 2出来高検査所 2出来高検査所 2出来高検査所 2、出来高検査所 2、出来高検査所 2、出来高検査所 2、出来高検査所 2、出来高検査所 2、出来高検査所 3・報告 1 請負契約第39条 1 請負契約第39条 1 対象契約第39条 1 対象系列象 1 対象系列象 1 対象列率 1 対象列						
□月報(出来高・進捗表) □定例打合せ記録 ■詳細工程表(月間工程表) ※年末年始・GW・夏季等については、安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 [前月末日まで] □地業(既製ンクリート杭等)工事結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■発生材処理報告書 ■発生材処理報告書 ■発生材処理報告書 ■発生材処理報告書 ■発生材処理報告書 ■発生材処理報告書 ■発生材処理報告書 「現場利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 「処分後」 □出来高検査願 2出来高検査願 2出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1 21.2.1 電1.2.1 機1.2.1 電1.2.1 機1.2.1 電1.5.4 機1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 電1.4.5 電1.4.5 電1.4.5 電1.4.5 電1.3.11 電1.3.9 機1.3.9						
【月初め7日以内】 □定例打合せ記録 【適宜】 ■詳細工程表(月間工程表) ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】 □地業(既製コンリート杭等)工事結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■発生材処理報告書 を廃業者でプロネルの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1 請負契約第39条 1 請負契約第39条 1 請負契約第39条		【 庶 未初颇山則】				
【月初め7日以内】 □定例打合せ記録 【適宜】 ■詳細工程表(月間工程表) ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】 □地業(既製コンリート杭等)工事結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■発生材処理報告書 を廃業者でプロネルの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1 請負契約第39条 1 請負契約第39条 1 請負契約第39条		□日報(出来宮・准排表)	報生	1		
□定例打合せ記録 【適宜】 ■詳細工程表(月間工程表) ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】 □地業(既製コンクリート杭等)工事結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ●発生土処理報告書 産廃業者でファストの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1出来高検査 2出来高検査 2出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1 建1.2.1 電1.2.1 機1.2.1 章1.4.5 東注1.5.6 電1.4.5 歳1.4.5 歳1.5.5 報告 1 建1.3.11 電1.3.9 機1.3.9 機1.3.9			+1X 🗀	'		
【適宜】 ■詳細工程表(月間工程表) ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】 □地業(既製コンクリート杭等)工事結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1 は未ら、環に3.3 11 電に3.9 機に3.9 機に3.9 株1.3.9 ## 1 請負契約第39条		(7.100) (DXF)				
【適宜】 ■詳細工程表(月間工程表) ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】 □地業(既製コンクリート杭等)工事結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1 は未ら、環に3.3 11 電に3.9 機に3.9 機に3.9 株1.3.9 ## 1 請負契約第39条		口定例打合计記録	報告	1		
■詳細工程表 (月間工程表) ※年末年始・GW・夏季等については、 安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】 □地業 (既製コンクリート杭等) 工事結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■試験結果報告書 ■発生材処理報告書 ●発生材処理報告書 産廃業者でフロネの写し (E票) 再資源利用 (促進) 実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1 は来高検査願 2 出来高検査願 2 出来高検査所 2 出来高報告書 □現場休止届 (年末年始・GW・夏季等) 報告 和告 は 21.2.1 電1.2.1 機1.2.1 建1.4.5 定は技術者 及び現場代理人 電1.4.5 機1.5.5 和告 は 21.3.11 電1.3.9 機1.3.9 機1.3.9			TIX LLI	'		
 ※年末年始・GW・夏季等については、安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載【前月末日まで】 □地業(既製コンクリート杭等)工事結果報告書 報告 1 建1.5.4 建1.5.4 及び現場代理人を記載を表現場所でする。 正試験結果報告書 報告 1 建1.5.4 接1.5.6 電1.4.5 達1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5 電子は対象者を表現の表現を表現では、表現を表現では、表現を表現では、表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表		(是五)				
 ※年末年始・GW・夏季等については、安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載【前月末日まで】 □地業(既製コンクリート杭等)工事結果報告書 報告 1 建1.5.4 建1.5.4 及び現場代理人を記載を表現場所でする。 正試験結果報告書 報告 1 建1.5.4 接1.5.6 電1.4.5 達1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5 電子は対象者を表現の表現を表現では、表現を表現では、表現を表現では、表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表		■詳細丁程表 (月間丁程表)	報告	1	建1.2.1	
安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載 【前月末日まで】			IKI		· -	
【前月末日まで】 □地業(既製コンクリート杭等)工事結果報告書 報告 1 建1.5.4 差任技術者及び現場代理人 ■試験結果報告書 報告 1 建1.4.5 達1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5 世紀 大小の写し(E票)再資源利用(促進)実施書建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1 出来高検査 1 請負契約第39条 1 出来高検査願 2 出来高報告書 報告 1 請負契約第39条 1 団現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1 請負契約第39条					_	
□地業(既製コンクリート杭等)工事結果報告書 報告 1 建1.5.4 差任技術者 及び現場代理人 ■試験結果報告書 報告 1 建1.4.5 達1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5 電1.5.5 機1.5.5 機1.5.5 機1.5.5 機1.5.5 機1.3.11 産廃業者マニフェストの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書 報告 1 請負契約第39条 1 計算契約第39条 1 引来高検査順 2 出来高報告書 報告 1 日 計算契約第39条 1 日 計算列399 1						
■試験結果報告書 報告 1 建1.4.5 建1.5.6 電1.4.5 理1.5.4 機1.4.5 機1.4.5 機1.5.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5 地間、5.5						
■試験結果報告書 報告 1 建1.4.5 達1.5.6 電1.4.5 達1.5.6 電1.4.5 ででは、4.5 ででは、5.4 機1.4.5 ででは、5.5 ででは、5.6 では、5.5 では		□地業(既製コンクリート杭等)工事結果報告書	報告	1	建1.5.4	
■ 武政府 (1						及U·現場11年八
選1.5.6 電1.4.5 電1.5.4 機1.4.5 電1.5.5 電1.5.5 電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5 単元 を発生が処理報告書 を廃業者マニフェストの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】		■試験結果報告書	報告	1	. —	
電1.5.4 機1.4.5 機1.5.5 □発生土処理報告書 産廃業者マフェストの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1出来高検査願 2出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1 請負契約第39条					· — · ·	及U玩場N年八
□発生土処理報告書 報告 1 ■発生材処理報告書 報告 1 ■発生材処理報告書 報告 1 産廃業者マニフェストの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 (拠分後)					_	
□発生土処理報告書 報告 1 機1.5.5 ■発生材処理報告書 報告 1 建1.3.11 電1.3.9 円資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 報告 1 請負契約第39条 1 出来高検査願 2 出来高報告書						
□発生土処理報告書 報告 1						
■発生材処理報告書 産廃業者マニフェストの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1 計負契約第39条 □出来高検査願 2出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1		口祭生十加田起生聿	起生	1	校(1.0.0	
産廃業者マニフェストの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1		口光工工处任我口首	ŦX ロ	I		
産廃業者マニフェストの写し(E票) 再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1		■発生材処理報告書	報告	1	 建1 3 11	
再資源利用(促進)実施書 建設副産物情報交換システム工事登録証明書 【処分後】 □出来高検査 1 出来高検査願 2出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1			TAH	'	· —	
【処分後】 □出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1					機1.3.9	
【処分後】 □出来高検査 1 出来高検査願 2 出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1						
1 出来高検査願 2 出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1						
1 出来高検査願 2 出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1						
2 出来高報告書 □現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1		□出来高検査	報告	1	請負契約第39条	
□現場休止届(年末年始・GW・夏季等) 報告 1		1 出来高検査願				
		2出来高報告書				
※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載		□現場休止届(年末年始・GW・夏季等)	報告	1		
		※安全管理措置、警備体制、緊急連絡先を記載				

	摘要	様式	部数	基準等	提出責任者 ※記入無は 現場代理人
完	■関係官公署その他の関係機関への届出等 【工事完了後速やかに】	報告	1		75 % 75 75
成	■しゅん工届 【工事完了後速やかに】		1	建1.6.1 電1.6.1	
後				機1.6.1	
に	■自主検査記録(現場代理人以外の検査とする) 【工事完了後速やかに】	報告	1		
提					
出	■工事写真(建築工事写真撮影基準に準拠)			建1.2.4	代表者
	■1工事記録写真	写真帳	1	電1.2.4 機1.2.4	
	■2完成写真 【工事完了後速やかに】	写真帳	1		
	■完成図			建1.7.2	
	PDF, CADデータ	CDもし くはDV	2	電1.7.2 機1.7.2	
	ᄆᆖᄀᄺᄱ	D			
	□電子納品 電子媒体 電子媒体	CDもし	2	※松戸市建築事業に係る電子納品	
	電子媒体納品書	くはDV D	1	運用ガイドライン(案)	
	■工事実績情報(工事カルテ)の登録 (竣工登録工事カルテ受領書、竣工登録データ) ※500万以上	報告書	1	建1.1.4 電1.1.4 機1.1.4	
	□引渡し関係 □1予備品等引渡通知書(リスト共) □2キーボックス		3		
	■防水工事に関する保証書 各種防水仕様による保証書(特記仕様による) 元請業者、製造業者及び防水施工業者の連名	保証書	3		
	■保全に関する資料 □1建築物等の利用に関する説明書	原則、 CDもし	2	建1.7.3 電1.7.3	
	□ 2 保守に関する説明書 (機器取扱説明書を含む) □ 3 機器性能試験成績書 ■ 4 官公署届出書類	くはDV D	2 1 1	機1.7.3	
	□ 5 総合試運転報告書 □ 6 総合試運転調整報告書		1 1	電1.7.3 機1.7.3	

《 松戸市建築工事検査・立会い一覧表 》建築工事編 (2025.7)

1	工事名称	松戸市営小金原併存住宅南北面外壁改修工事	
١.	上 事石彻	松尸巾名小並尽併仔住七角礼曲外望以修工事	

2. 工事場所 松戸市小金原四丁目6番地

3. 工 期 令和 7年 月 日 から 令和 8年 3月 13日 まで

標 仕:公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版 改標仕:公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年版

改榜	震仕::	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和7年	F版		
No		検査・立会い項目	基準等	備	考
1	検査				
	1	品質管理検査(必要に応じて)	標 仕 1.3.6		
			改標仕 1.3.6		
	2	材料の検査(承諾済は除く)	標 仕 1.4.4		
			改標仕 1.4.4		
	■ 3	施工の検査等	標 仕 1.5.5		
			改標仕 1. 7.5		
	□4	敷地の状況確認及び縄張り	標 仕 2.2.1		
	□5	ベンチマーク	標 仕 2. 2.2		
	□6	遣方	標 仕 2. 2.3		
	\Box 7	根切り	標 仕 3. 2.1		
			改標仕 8.28.3		
	□8	地業工事 掘削深さ及び支持層	標 仕 4. 5.5		
	_ •	(アースドリル工法、リバース工法、オールケーシング工法)	133 12 11 01 0		
	□9	配筋検査	標 仕 5.1.3		
		H-0197 17 1-1-1-1	改標仕 8.3.1		
	□10	コンクリート打ち込み後補修	標 仕 6. 9.6		
			改標仕 8.8.6		
	□11	高力ボルト締付確認の記録	標 仕 7. 4.8		
		「一つ プン・ハ・ハ・リー・リー・リー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	改標仕 8.14.8		
			改標任 8.20.7		
	□12	鉄骨建方	標 仕 7.10.5		
			改標仕 8.19.3		
	\square 13		改標仕 8.23.6		
	■15	防水層の施工	標 仕 9. 1.3		
	— 13	別小店の旭工	以標		
	□16	タイル張施工後の接着力試験不合格の場合	標 仕 11. 1.7		
		タイル旅爬工後の後有刀武駅小口俗の場口			
			改標仕 4. 4.8		
	1	並 公侍田	改標仕 6.16.2		
	□17 □10				
	ا ا ا	出来高			
2					
2	立会し				
	■ 1	材料の検査に伴う試験	標 仕 1.4.5		
	_ ^	のおり マン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	改標仕 1.4.5		
	2	監督職員の指示による立会い	標 仕 1. 5.8		
			改標仕 1. 7.8		
	□3		標 仕 4. 2.1		
		(杭又は支持地盤の位置及び土質の試験)	改標仕 8.28.4		